

令和3年度  
城陽市自治会アンケート調査  
結果報告書

令和4年1月  
城陽市市民活動支援課

# 自治会アンケートの実施概要

## 1. 目的

昨今の社会環境の変化を要因とする価値観の多様化や、近隣関係の希薄化などを背景とした、自治会活動における現状の問題点について把握し、その解決策を講じるための基礎資料とします。また、様々な取り組み事例や運営方法等について各自治会に共有し、今後の活動の参考としていただくものです。

## 2. 調査対象

城陽市内の自治会長（令和3年9月1日現在、休止中の自治会を除く）

## 3. 調査期間

令和3年9月10日～令和3年9月30日

## 4. 調査方法

郵送による調査票の配布及び回収（無記名回答）

## 5. 調査結果

回収率：84.3%（127自治会中107自治会）

# 自治会アンケートの調査結果

## アンケート調査の質問項目

調査項目	小項目	ページ	「その他」等 該当ページ
Ⅰ. 自治会の概要について	Q1. 自治会の地域	p.3	—
	Q2. 会長の年代	p.3	—
	Q3. 会長の性別	p.3	—
	Q4. 役員を選出方法	p.4	—
	Q5. 自治会費や入会費	p.5～6	—
	Q6. 役員手当	p.7	p.34
Ⅱ. 自治会の活動や困りごとについて	Q1. 役員会の回数	p.8	—
	Q2. 活動や運営上の問題・困りごと	p.9～10	p.35～36
	Q3. 活動充実のための自治会の取り組み	p.11	p.37～38
	Q4. 未加入者への加入促進	p.12～13	p.39～40
	Q5. 加入者を増やすための取り組み	p.14	p.41～42
	Q6. 退会者を減らすための取り組み	p.15	p.43
	Q7. 役員のなり手確保のための取り組み	p.16～17	p.44～45
	Q8. 会長としてのご苦勞やご負担	p.18	p.46～47
	Q9. 特色ある活動や工夫されていること	p.19～20	—
	Q10. コロナ禍での特色ある取り組み	p.21～22	—
Ⅲ. 市からの自治会活動支援について	Q1. 市からの必要な支援	p.23	p.48
	Q2. 回覧物の回数	p.24	p.49
	Q3. 市民活動支援センターについて	p.25	p.49
	Q4. 提供してほしい情報	p.26	—
Ⅳ. その他	日ごろ感じておられることや自治会活性化へのご提案	p.27～33	—

# I. 自治会の概要について

Q1. 自治会の地域を教えてください。

1. 久津川    2. 古川    3. 久世    4. 深谷    5. 寺田  
 6. 寺田南    7. 寺田西    8. 今池    9. 富野    10. 青谷

校区	久津川	古川	久世	深谷	寺田	寺田南	寺田西	今池	富野	青谷
回答数	11	11	13	6	14	14	14	8	10	6
〔校区内 自治会数〕	(13)	(16)	(13)	(9)	(14)	(16)	(16)	(10)	(13)	(7)

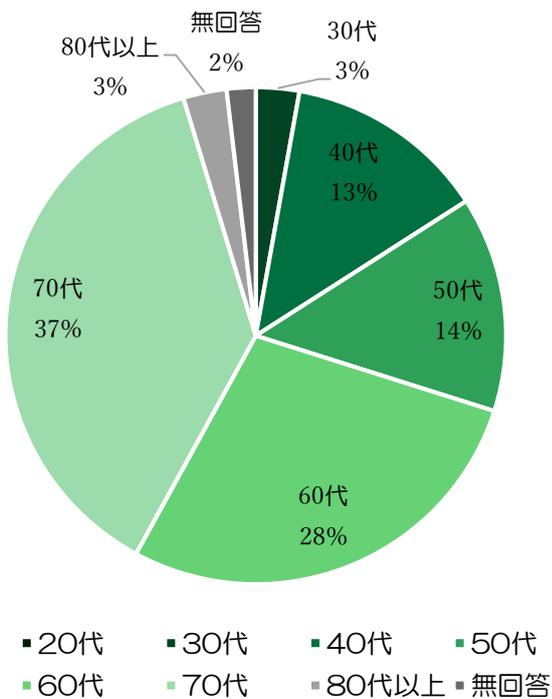
Q2. 会長の年齢について当てはまるものに○印をつけてください。

1. 20代    2. 30代    3. 40代    4. 50代    5. 60代    6. 70代    7. 80代以上

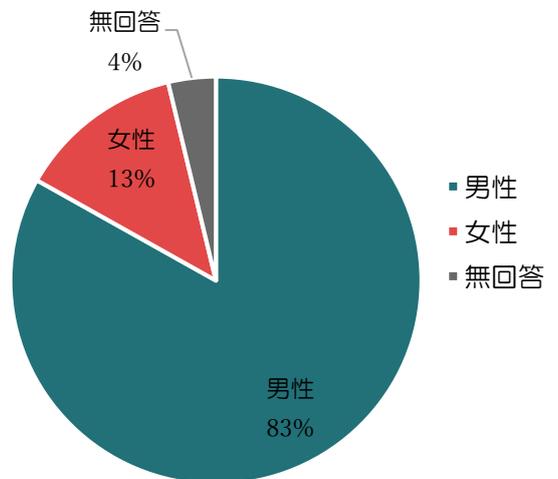
Q3. 会長の性別を教えてください。

1. 男性    2. 女性

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
回答数	0	3	14	15	30	40	3	2
割合	0%	3%	13%	14%	28%	37%	3%	2%

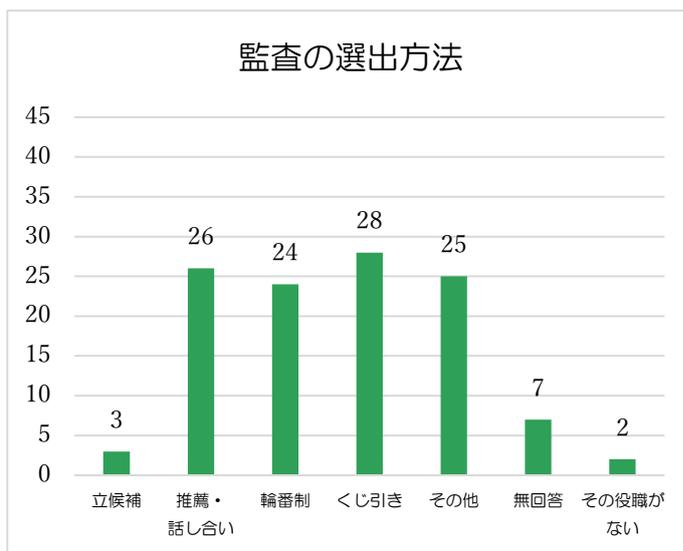
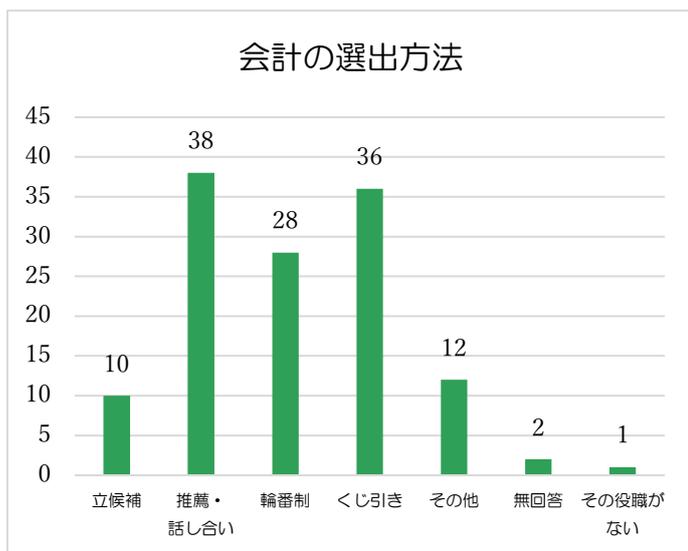
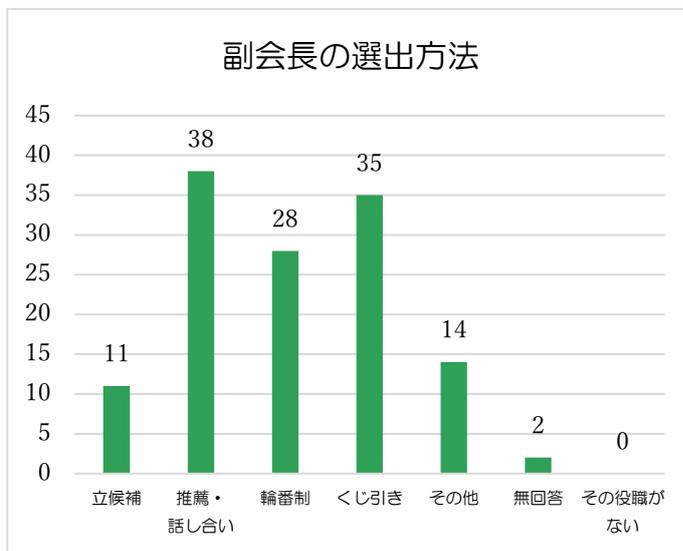
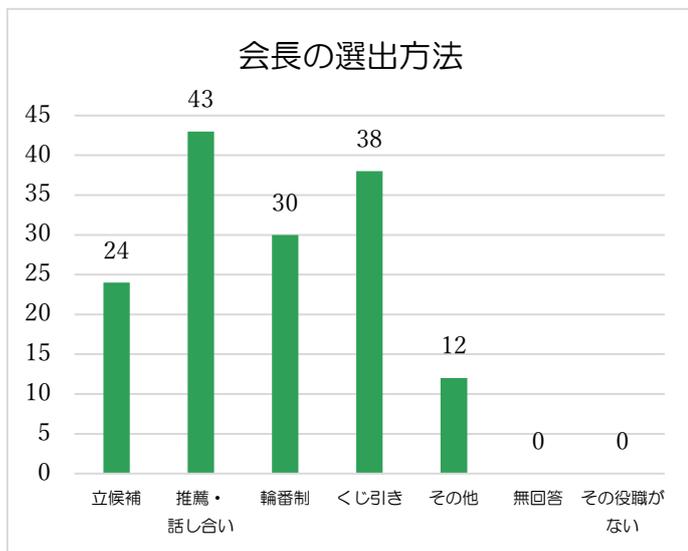


	男性	女性	無回答
回答数	89	14	4
割合	83%	13%	4%



Q4. 自治会の役員はどのような方法で選出していますか。  
 役職ごとに、当てはまる方法に○印をつけてください。

立候補 / 推薦や話し合い / 輪番制 / くじ引き / その他（具体的に）



※それぞれ重複回答あり

役員を選出方法は、会長・副会長・会計については「推薦・話し合い」で選出している自治会が最も多く、次いで「くじ引き」をもって選出しているところが多かった。監査の選出については、「くじ引き」で選出している自治会が最多であった。また、選出方法をどれかひとつに定めず、年度によって変えたり、選出方法を併用して役員選出を行っているため、複数選択された自治会も多かった。

なお、「その他」を選んだ自治会の選出方法には、以下のようなものがあった。

- くじ引きで選出した監査が、次年度から会計→副会長→会長と持ち上がる。
- 会長が他の役員を指名する
- 選挙、投票をもって選出する

Q5. 自治会費や入会費について教えてください。

徴収されている場合、いくらですか。また、徴収方法と頻度について、当てはまる方法等に〇印をつけてください。

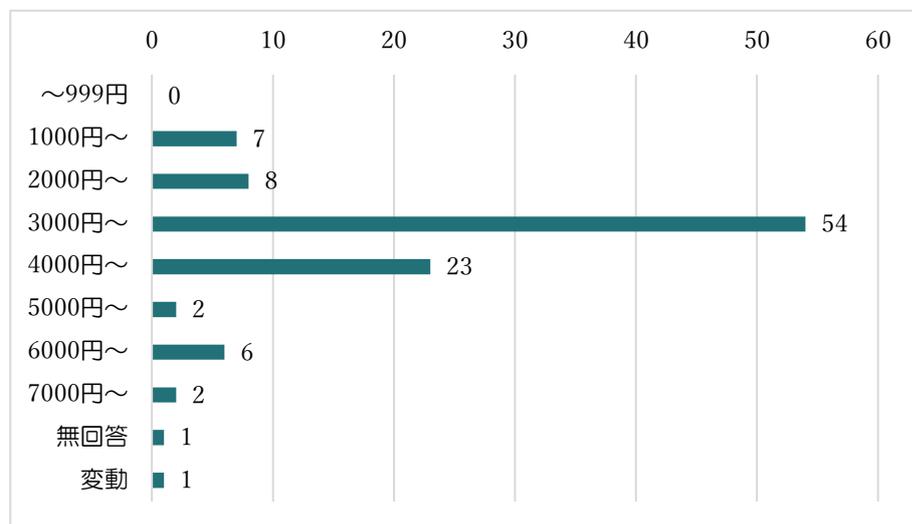
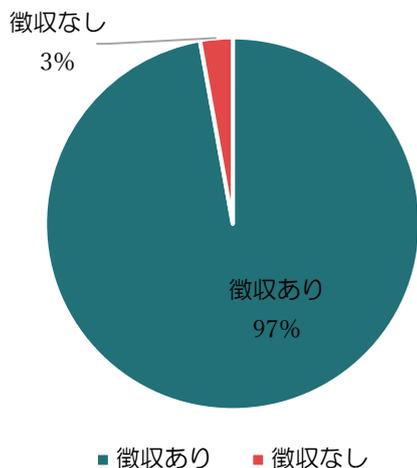
### 自治会費の徴収について

	徴収あり	徴収なし
回答数	104	3
割合	97%	3%

徴収方法	
集金	95
振込	1
その他	3
無回答	6

徴収頻度	
月払い	11
年払い	64
年2回払い	35
必要に応じて	0
その他	5
無回答	7

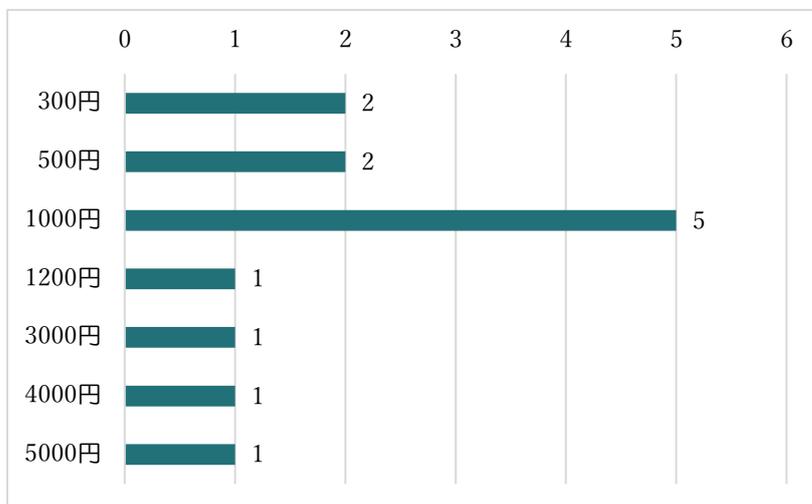
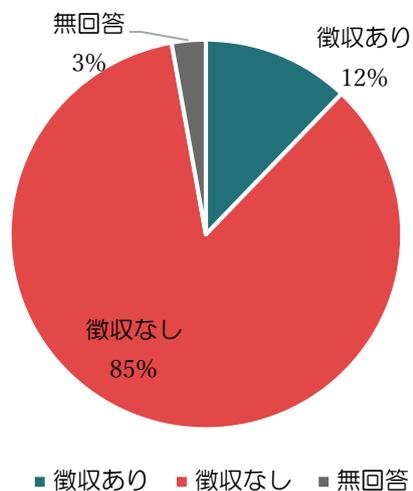
※徴収方法と徴収頻度は重複回答あり



回答された107自治会のうち、97%にあたる104自治会が自治会費を徴収していると答えた。最も多かった金額帯は3,000円台で、そのうち「年間3,600円」と答えた自治会が最も多かった。

## 入会費の徴収について

	徴収あり	徴収なし	無回答
回答数	13	91	3
割合	12%	85%	3%



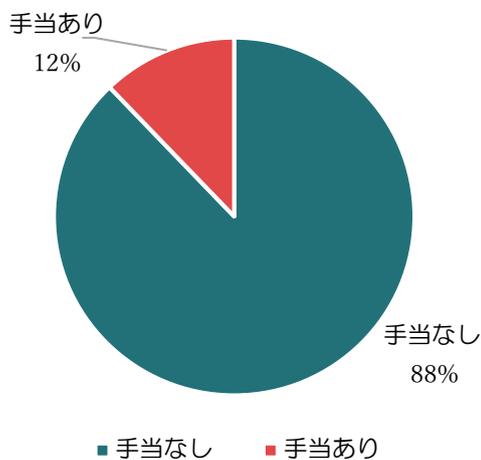
回答された107自治会のうち、入会費を徴収しているのは13自治会（12%）であった。そのうち、最も多かったのは「入会費1,000円」で、5自治会あった。

なお、そのうち最も入会費が低かったところは「300円」、最も入会費が高かったところは「5,000円」であった。

Q6. 自治会役員に対し、手当（お礼や報酬等）を渡していますか。

1. 渡していない
2. 渡している  
その場合、役員ごとの報酬を教えてください。

	手当なし	手当あり
回答数	94	13
割合	88%	12%



会長への手当		副会長への手当		会計への手当	
なし	1	なし	3	なし	5
0～5,000円	4	0～5,000円	5	0～5,000円	3
5,001～10,000円	2	5,001～10,000円	1	5,001～10,000円	1
10,001～30,000円	3	10,001～30,000円	3	10,001～30,000円	3
30,001円以上	2	30,001円以上	0	30,001円以上	0
回答なし	1	回答なし	1	回答なし	1

回答された107自治会のうち、自治会役員に対し手当を渡しているのは12%にあたる13自治会あった。

商品券を渡しているところや、交通費・渉外費として渡しているところなど、自治会によって手当等はさまざまであった。また、会長・副会長・会計だけでなく、体振役員や組長、サポート隊など、その他役員に手当を渡している自治会もあった。

詳しい回答内容は、p.34に記載しています。

## Ⅱ. 自治会の活動や困りごとについて

Q1. 役員会は年に何回開催されていますか。

コロナ禍以前と現在の当てはまる回数それぞれに○印をつけてください。

(コロナ禍以前)

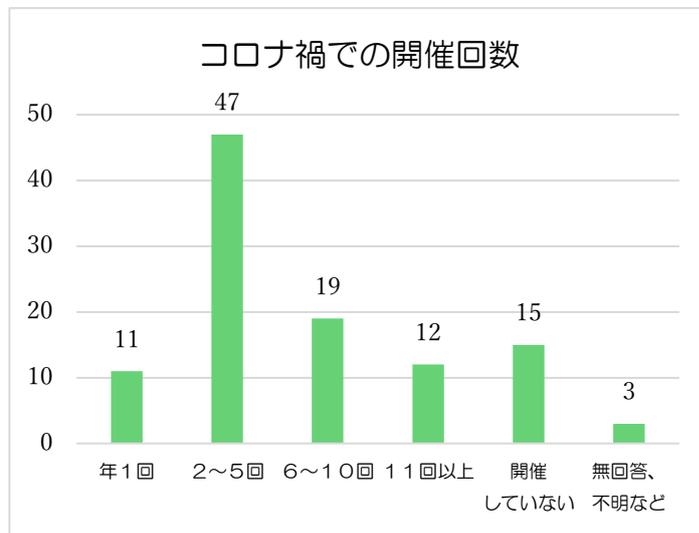
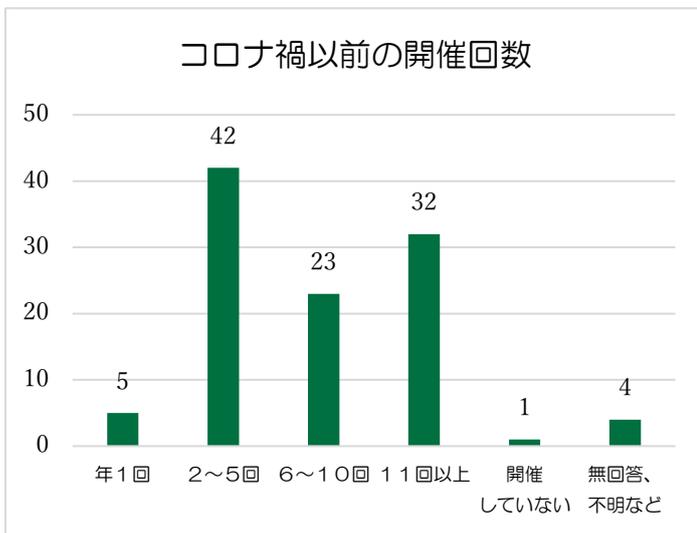
- |              |            |           |
|--------------|------------|-----------|
| 1. 年1回（総会のみ） | 2. 年2～5回   | 3. 年6～10回 |
| 4. 年11回以上    | 5. 開催していない |           |

(現在)

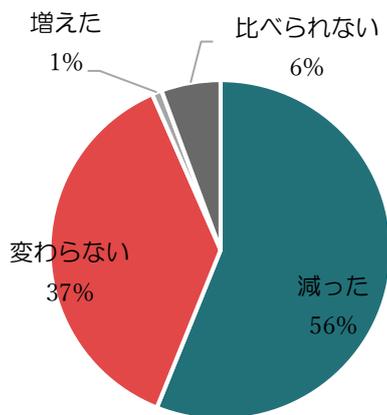
- |              |            |           |
|--------------|------------|-----------|
| 1. 年1回（総会のみ） | 2. 年2～5回   | 3. 年6～10回 |
| 4. 年11回以上    | 5. 開催していない |           |

(コロナ禍以前)

(現在)



コロナ禍以前との役員会の回数比較



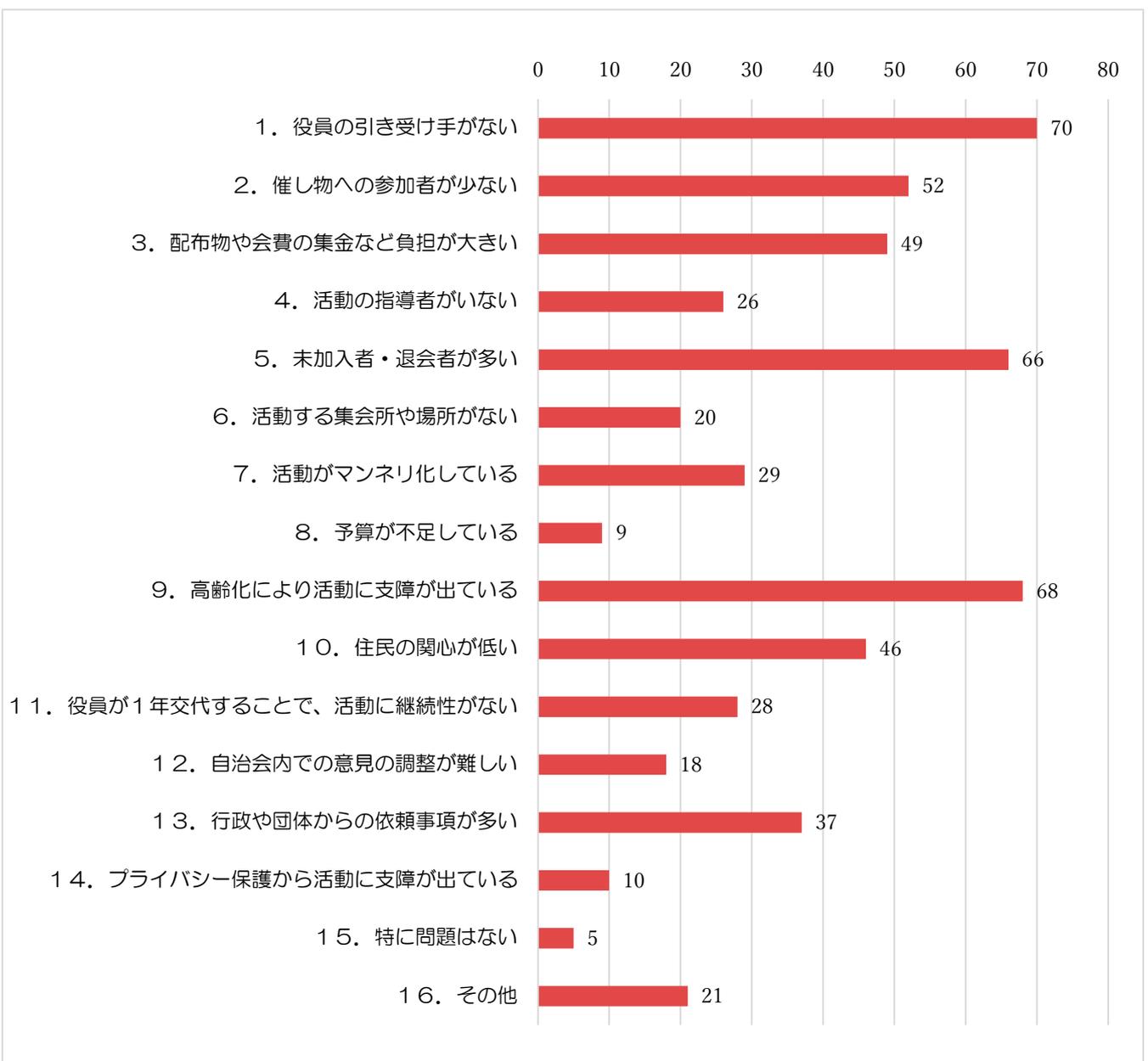
- |       |          |
|-------|----------|
| ■ 減った | ■ 変わらない  |
| ■ 増えた | ■ 比べられない |

56%の自治会がコロナ禍以前に比べて役員会の回数が減っており、コロナ禍以前には役員会を年2～5回、次いで11回以上実施している自治会が多かったが、コロナ禍では年1回や年2～5回の実施、または開催していない自治会が急増した。

また、コロナ禍ではLINEによる連絡などのやりとりや、ZOOM等を使ったリモート会議を実施したという自治会など、開催方法を工夫しているところもあった。

Q2. 自治会の活動や運営で、どのような問題や困りごとがありますか。  
 当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1. 役員の引き受け手がない
- 2. 催し物への参加者が少ない
- 3. 配布物や会費の集金など負担が大きい
- 4. 活動の指導者がいない
- 5. 未加入者・退会者が多い
- 6. 活動する集会所や場所がない
- 7. 活動がマンネリ化している
- 8. 予算が不足している
- 9. 高齢化により活動に支障が出ている
- 10. 住民の関心が低い
- 11. 役員が1年交代することで、活動に継続性がない
- 12. 自治会内での意見の調整が難しい
- 13. 行政や団体からの依頼事項が多い
- 14. プライバシー保護から活動に支障が出ている
- 15. 特に問題はない
- 16. その他 具体的に：



自治会の活動や運営での問題・困りごとが特にないと回答したのは、5自治会のみにとどまり、多くの自治会が活動する上で問題や困りごとを抱えていることが結果に表れた。その内容のうち最も多かったのは「1. 役員の引き受け手がない」ことで、次いで「9. 高齢化により活動に支障が出ている」ことや、「5. 未加入者・退会者が多い」ことが問題として挙げられた。

「その他」を選択された自治会からは、

- 社協関連の依頼（募金など）が多い
- 区民運動会など体振からの負担が大きい

というような「13. 行政や団体からの依頼事項が多い」に関連した意見や、

- 高齢者は役員を辞退できるため、若い世帯はすぐ役員が回ってくる状態
- 高齢による退会があるが、退会されると自治会としてサポートが難しいなど、「9. 高齢化により活動に支障が出ている」に関連した意見が多くあった。

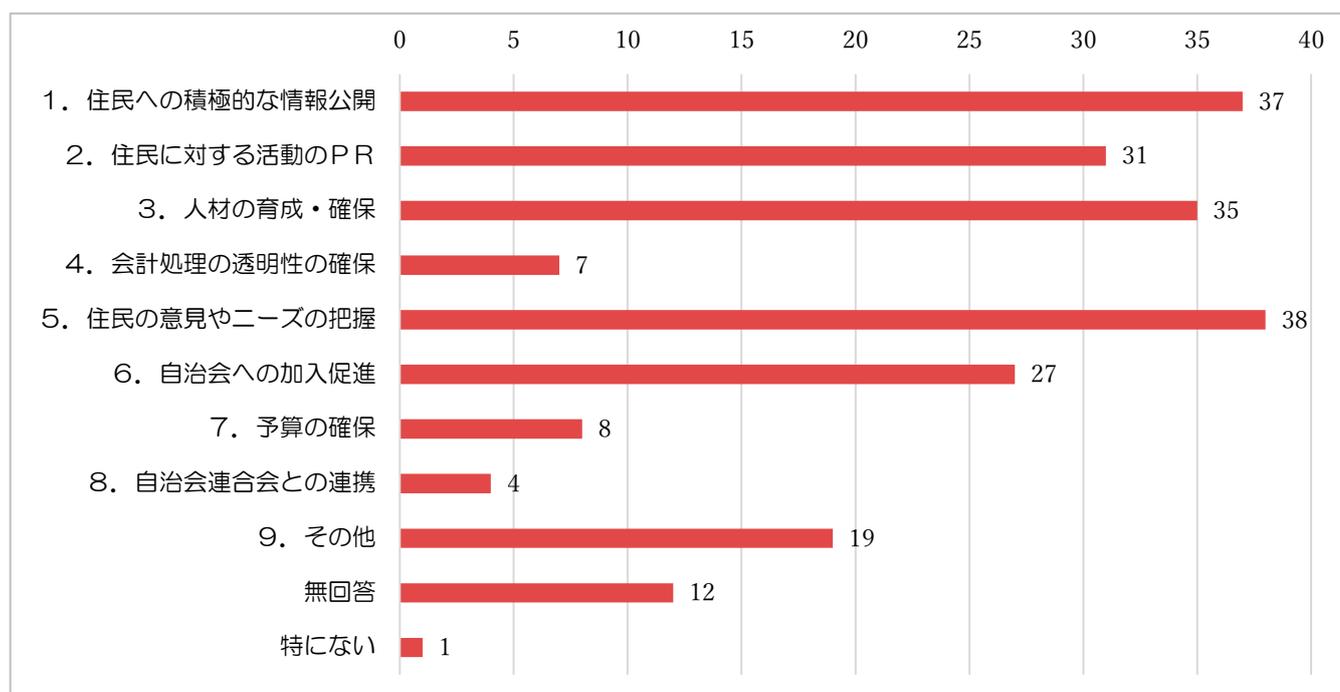
一方で、

- 今までは輪番制で、1年が過ぎると継続性がなかったが、今は前年度の役員が何人かは残っているので前年度の状態が伝わりやすい
- 会長を何年か継続していると、「来年はこうしていこう」という改善策が建てやすいというような、それぞれが抱える問題点に対する改善策を記入された自治会もあった。

「その他」の回答内容は、p.35～36に記載しています。

Q3. 自治会活動の充実には、どのような自治会の取り組みが必要だと思いますか。  
 当てはまるものに○印をつけてください。(3つまで)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 住民への積極的な情報公開 | 2. 住民に対する活動のPR |
| 3. 人材の育成・確保     | 4. 会計処理の透明性の確保 |
| 5. 住民の意見やニーズの把握 | 6. 自治会への加入促進   |
| 7. 予算の確保        | 8. 自治会連合会との連携  |
| 9. その他 具体的に：    |                |



自治会活動を充実させるために必要な自治会の取り組みとして、「5. 住民の意見やニーズの把握」が必要だと考えている自治会が最も多かった。次いで、「1. 住民への積極的な情報公開」、「3. 人材の育成・確保」が多く選択された。

地域住民の求めることを自治会として実現していくことや、また、自治会がどんな活動をしているのか等の情報を未加入者に発信することで、自治会に対する理解を深めていただき加入につなげることが、活動充実に必要なだと考えておられる自治会が多かった。

なお、「その他」と回答をされた自治会からは、

- ・自治会の重要性を説明できる人材が必要
- ・自治会の存在意義を周知させる取り組み

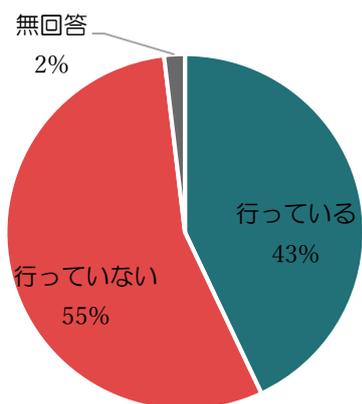
など、自治会自体の必要性や、加入するメリットを伝えることが必要だと考える意見もみられた。

また、・自治会活動のスリム化 ・無理のない参加の呼びかけ ・高齢者の増加に伴う高齢者向けの行事 など、活動内容を見直し、より現状に沿った活動しやすい環境を整えることが必要だという意見もあった。

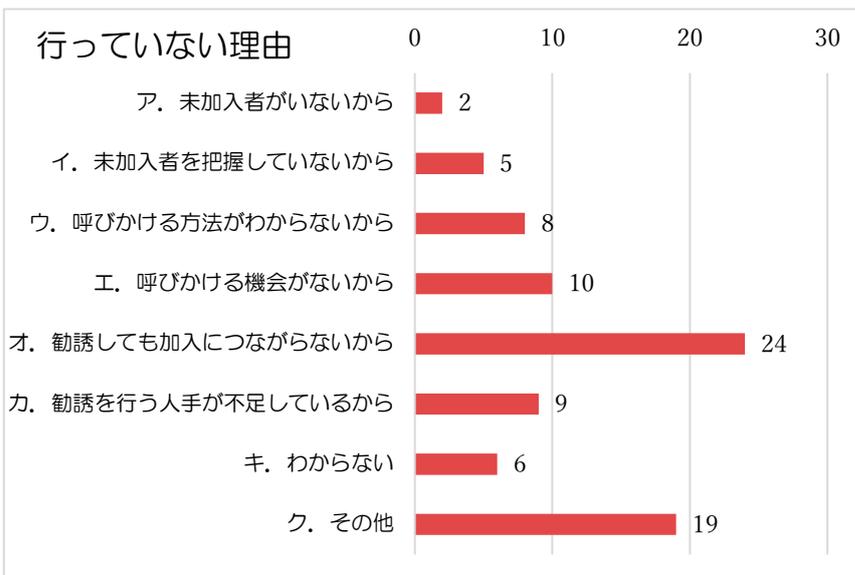
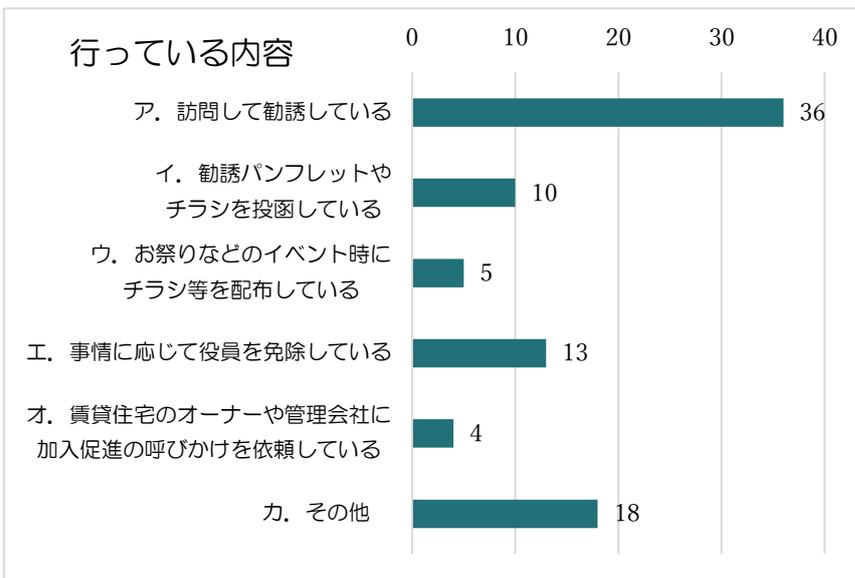
「その他」の回答内容は、p.37~38に記載しています。

Q4. 未加入者に対して、加入促進を行っていますか。  
 行っている・行っていないの回答に続けて、当てはまる内容に○印をつけてください。

	行っている	行っていない	無回答
回答数	46	59	2
割合	43%	55%	2%



■ 行っている ■ 行っていない ■ 無回答



自治会への加入促進については、46自治会が行っていると回答し、特に行っていないと答えたのが59自治会あった。

加入促進を行っている自治会の方法としては、「ア. 訪問して勧誘している」が最も多い方法であった。「その他」の回答には、

- ・アパートが建設された際には管理者と相談し、自治会費の徴収を依頼し全戸入会してもらっている。
- ・高齢や体調不良などの理由で役員が引き受けられない方には、自治会費負担のみの「準会員」になっていただき、退会されないように説明している。
- ・自治会で作成したパンフレットや自治会便りを持参して加入促進しているなど、自治会で工夫して退会防止対応や加入促進を行っているという意見があった。また、

既に勧誘を行った方にも、次年度の再加入を目指し年末ごろに再度勧誘する予定を立てているなど、何度か声掛けをしている自治会もあった。

一方で、未加入者への加入促進を行っていないと答えた自治会の多くは「オ、勧誘しても加入につながらないから」を選択されており、また、「その他」に記入された意見にも、

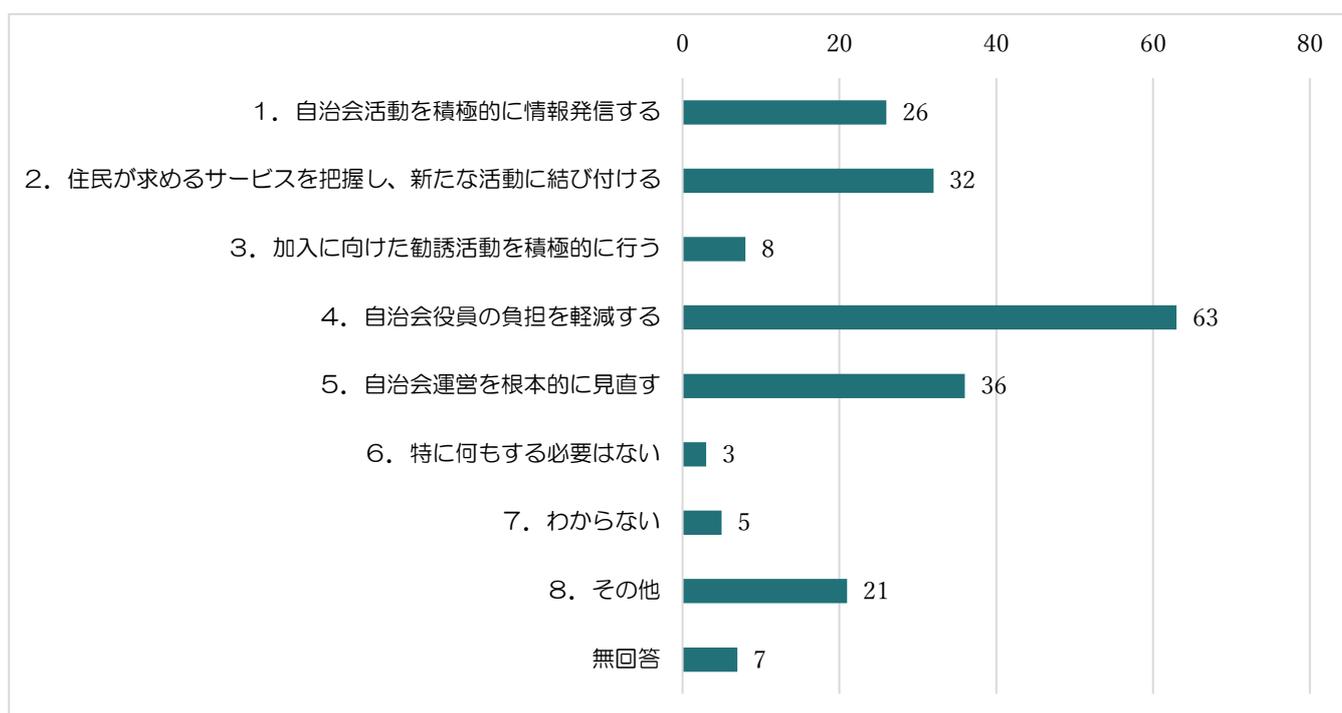
- ・加入のメリットを明確にアピールできない
- ・加入しなくてもデメリットを感じないという住民が多い

など、既に加入促進の声かけをされた上で、説明に苦勞されていたり、未加入者に理解されないという現状があった。

「その他」の回答内容は、p.39～40 に記載しています。

Q5. 自治会への加入者を増やすために、どのような自治会の取り組みが必要だと思いますか。当てはまるものに○印をつけてください。(3つまで)

1. 自治会活動を積極的に情報発信する
2. 住民が求めるサービスを把握し、新たな活動に結び付ける
3. 加入に向けた勧誘活動を積極的に行う
4. 自治会役員の負担を軽減する
5. 自治会運営を根本的に見直す
6. 特に何もする必要はない
7. わからない
8. その他



自治会への加入者を増やすための取り組みとして、「4. 自治会役員の負担を軽減する」が必要だと考えておられる自治会が突出していた。

他の設問に対する回答の中にも、役員になるのがいやで退会される方がいるというような記載をされている自治会もあり、役員になっても負担にならない環境づくりが、自治会加入の勧誘時などにアピールポイントになると考えている自治会が多かった。

「その他」と回答された自治会からは、

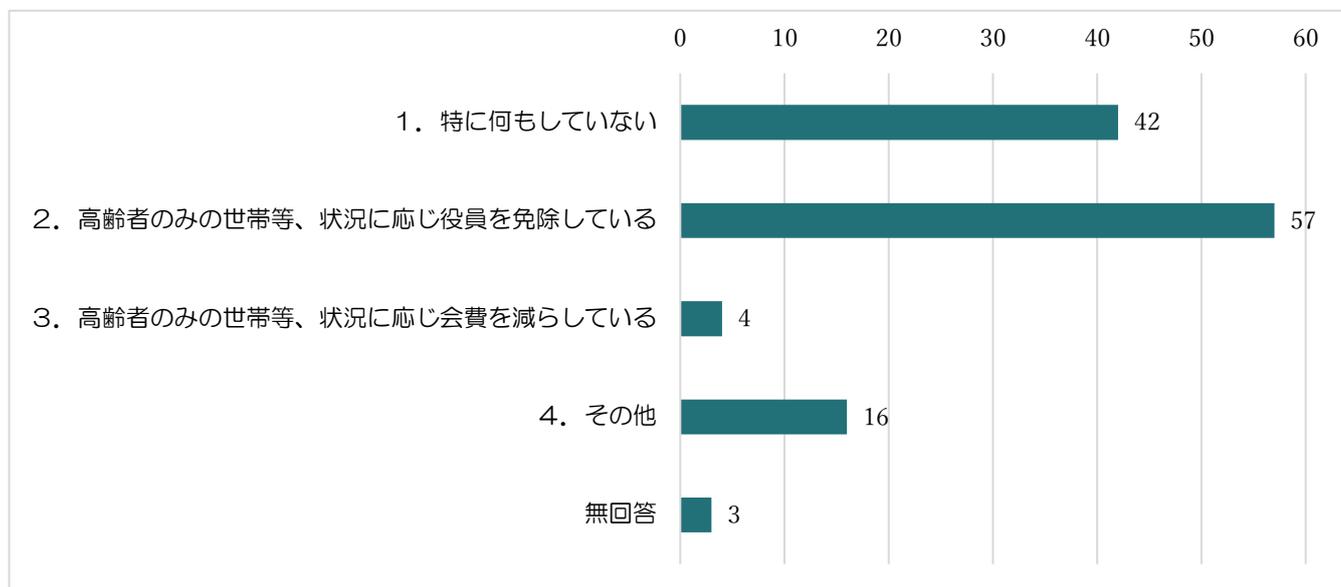
- ・自治会に加入しているメリットを考える

というような意見がいくつもあった。また、自治会が現在行っている活動（街灯維持や消火器の管理など）を理解していただくということや、会長の負担軽減のため、業務の分散・資料作成の援助など、「自治会運営を根本的に見直す」に付随するような意見もあった。

「その他」の回答内容は、p.41～42に記載しています。

Q6. 自治会退会者を減らすために、取り組みを行っていますか。

1. 特に何もしていない
2. 高齢者のみの世帯等、状況に応じ役員を免除している
3. 高齢者のみの世帯等、状況に応じ会費を減らしている
4. その他



自治会退会者を減らすための取り組みについては、現在特に何もしていないという自治会と、「2. 高齢者のみの世帯等、状況に応じ役員を免除している」という自治会に大きく分かれた。

「その他」の意見には、

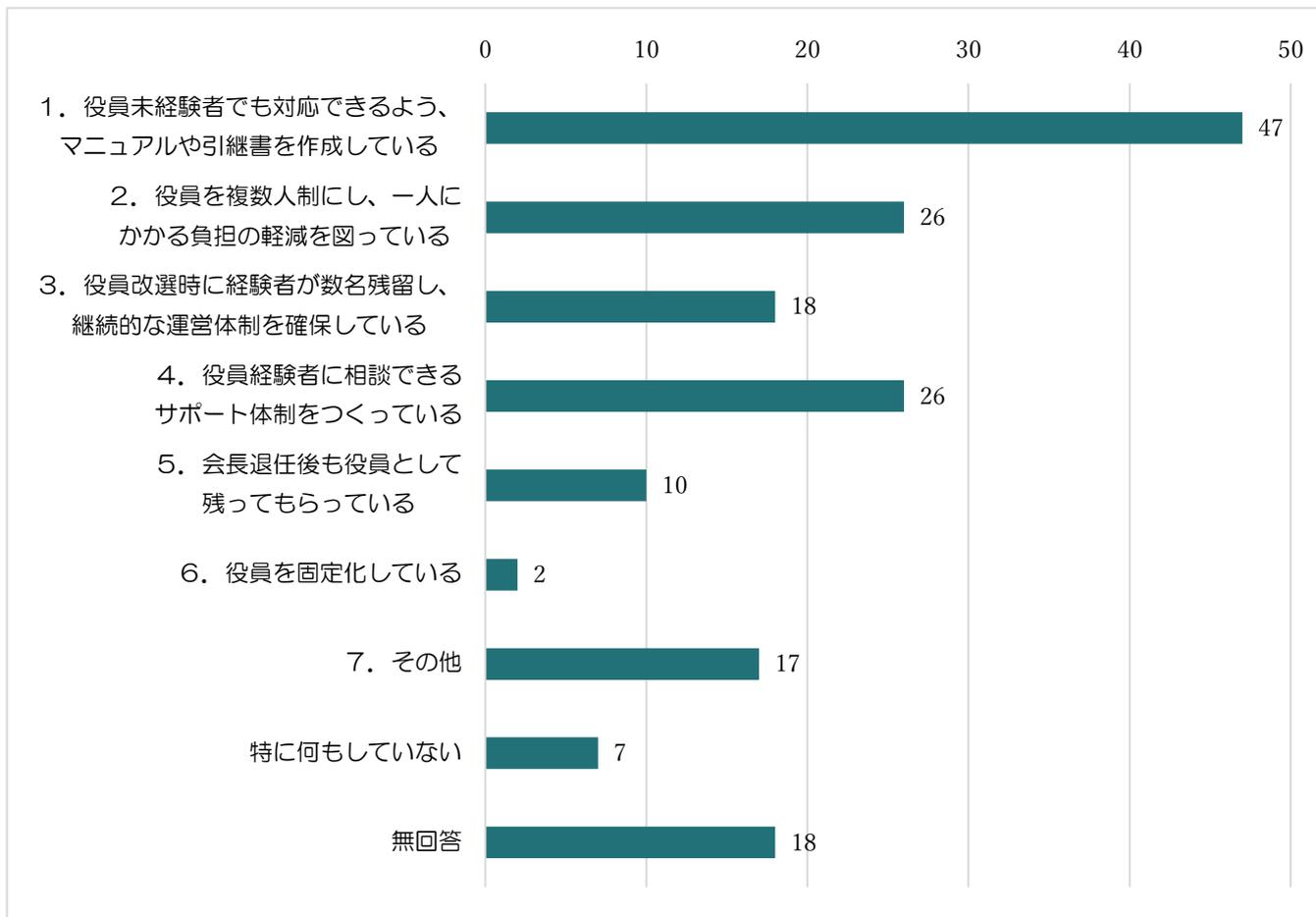
- コロナ禍のため、2年間は自治会費を半額にした
  - 米寿のお祝いを始めた
  - 役員の負担を減らすため、自治会費の回収に各戸訪問しなくていいように口座引き落としにした
  - 退会した際のデメリットを伝えている
- など、自治会ごとの様々な工夫があった。

また、退会者が増えていることを懸念し、何か対応をしようと相談中だという自治会もあった一方で、高齢者の役員免除の影響で若者の自治会退会が増えていることに悩んでいる自治会もあった。

「その他」の回答内容は、p.43に記載しています。

Q7. 役員のなり手を確保するために、どのような取り組みを行っていますか。  
 当てはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 役員未経験者でも対応できるよう、マニュアルや引継書を作成している
2. 役員を複数人制にし、一人にかかる負担の軽減を図っている
3. 役員改選時に経験者が数名残留し、継続的な運営体制を確保している
4. 役員経験者に相談できるサポート体制をつくっている
5. 会長退任後も役員として残ってもらっている
6. 役員を固定化している
7. その他



役員のなり手確保のための取り組みとして実施している自治会が最も多かったのは「1. 役員未経験者でも対応できるよう、マニュアルや引継書を作成している」であった。「2. 役員を複数人制にし、一人にかかる負担の軽減を図っている」、「4. 役員経験者に相談できるサポート体制をつくっている」の選択肢を選んでいる自治会も多く、自治会に対する知識が無く新たに役員になった方も事務をこなせるよう、環境を整えている自治会が多かった。

「その他」を選ばれた自治会では、

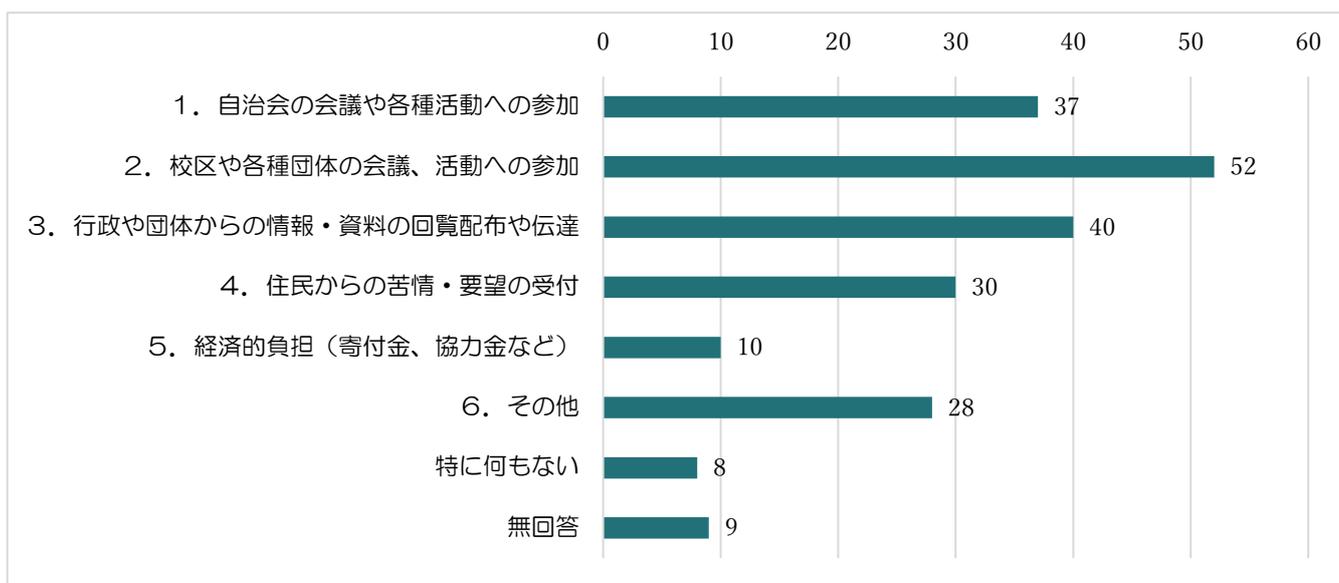
- ・役員を2年以上務めた方に顧問・相談役をお願いしている
- ・行事や催しの手伝いをしてくれそうな人に有志でグループを作ってもらっている

- など、役員確保のための工夫をされている意見があった一方で、
- 役員を複数人制にしているが、人がいなくなっている
  - 有無を言わず、くじの結果で役員を決める
  - 何かしなければと思いつつ毎年何も進まず、何年か後に消滅するのでは？と思うなど、それぞれ苦勞を抱えている現状を記入された自治会もあった。

「その他」の回答内容は、p.44～45 に記載しています。

Q8. 会長としてご苦労、ご負担に感じておられることはありますか。  
 当てはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 自治会の会議や各種活動への参加
2. 校区や各種団体の会議、活動への参加
3. 行政や団体からの情報・資料の回覧配布や伝達
4. 住民からの苦情・要望の受付
5. 経済的負担（寄付金、協力金など）
6. その他



自治会長としてのご苦労やご負担については、「2. 校区や各種団体の会議、活動への参加」が最も多く、回答いただいた107自治会のうちほぼ半数が選択していた。

「その他」を選択された自治会からは、

- ・時間の拘束 ・仕事があり自治会活動に時間がとれない
- ・コロナ禍でなければ、自治会活動で本業の仕事に差し障りが出る
- ・高齢者や退会者が増え、今後の運営が心配
- ・メールやLINE を使えない人がいて役員同士の意思疎通が難しい
- ・自治会内での意見の相違（古くからの考えと、先進的な考えとの調整）

など、自治会活動に多くの時間を取られることや、自治会運営に対する声が多くあげられた。

また、

- ・コロナ禍でやりたいことができない ・コロナで集まれず、会議や情報交換ができないという声があった一方で、
  - ・コロナ禍による行事や会議の中止、縮小のおかげで負担が減った
  - ・今年は様々な会議が少なく、これくらいがちょうどよい
- というような意見も多くあった。

「その他」の回答内容は、p.46～47 に記載しています。

Q9. 自治会で特色のある活動や、工夫されていることがあれば、その内容を記入してください。（コロナ禍以前の内容をお答えください。）

#### <イベントなどの取り組みなど>

- ・年に一度「たそがれ集会」の名目で会員の親睦を図り40年以上開催しており毎回80人程度集ってビンゴゲーム（賞品付）を行い盛り上がり、運動会行事等の説明し参加を募っております。
- ・自治会で高齢者クラブ、お助け隊を結成。現在、115人。自治会活動のお助け。毎年1回、日帰り旅行を実施。芋ほり大会を自治会と共に主催。空き缶回収し、高齢者クラブの運営費用を捻出。日帰り旅行（市のバス利用）は、喜んでられる。
- ・コロナ禍以前では、毎年10月から11月におたのしみ会として会員の親睦をはかるため、会場を借り食事をしながら、音楽を楽しんだり、だれかに依頼して余興をしていただいたりする会を計っていた。
- ・夏休みに、子供達が宿題をする場をもうけ、ボランティアがアドバイスする会を催す。
- ・地蔵盆（参加者は多い）8月、溝掃除（6月）、餅つき大会（12月、コロナ前に12回）、久世校区行事に全て参加
- ・毎年役員で夏祭り、イベントなど考えて開催しております。
- ・山の神様、六体地蔵、地蔵盆等、古くからの伝統行事を19の町内が輪番制で責任をもって行っている。
- ・地蔵盆は毎年楽しみに待っている子供達も多くその年度の役員、担当者が創意工夫して特色のあるもので開催している。予算として50万円を計上している。
- ・住民との親睦を図る為、夏まつり、秋のレクリエーションを行っている
- ・各世代間の交流、もちつき大会などを実施

#### <自治会運営の工夫など>

- ・会長は、市からの配布物を一軒一軒届けています。（私の時はね）他の方の時はほとんど配られていないが…？
- ・可能な限り、紙面で決議するようにしている。
- ・懇親会及び総会は会食を兼ねてほぼ全員参加で行っており、その中でいろいろな意見を出し合い食事をしながら楽しく世間話しなどをしながらの会でした。
- ・高齢化によりすべて縮小している
- ・前年度役員にサポーターとして残ってもらい、活動の穴埋めをしてもらう。
- ・役員会や話し合いの時は消毒、密を避け、喚気をしている

#### <会員交流の取り組みなど>

- ・集会所でのセミナーや夏休み等に自主勉強用に開放して自由に使える様にしていた。
- ・三世代交流として、毎月ふれあいサロンを開く。別団体“ふれあいサロン”を組織。自治会はそれを援助するという形で役員負担にならず、交流できる場を作る。
- ・週一回の体操を集会所で行い、年に2回位サロンやクリスマス会を開催

- 広報紙の発行（不要、負担が大きい、内容がくだらないという意見も多い）、夏祭り（廃止してほしいという意見が多い）
- 自治会や校区・市等の情報を会員の皆様に知っていただく様に毎月、「自治会ニュース」を発行している。 役員間の連絡・情報共有には、主にグループラインを使用し、迅速な連絡を心掛けている。 法人格を持っていることを活用し、自治会名義で通帳を作成、会費の自動引き落としを可能にしている

#### <防災の取り組み>

- 災害時の助け合いを自治会として積極的にすすめられないか検討の上、次のような取り組みをすすめた。
  - （1）災害用備蓄品の整備 ・レトルトカレー ・水 ・紙コップ、紙皿 ・カセットガスコンロ ・マスク ・ラップ ・アルコール 等
  - （2）大地震時等緊急時の役員の活動のマニュアル作成
  - （3）大地震時等緊急時の安否確認を希望する家庭の把握

#### <その他>

- 高齢化に対する取り組みとして若い人の参加を強く呼びかけて今後の運営に対して理解・協力を会長として強くお願いしている。
- イベント等できない中、書類の見直しをし、公園の除草等先ず、役員で行う事にしました（管理人がしてくれるものと思っていた）

※全て原文のまま記載しています。

## Q10. 自治会で行っている、コロナ禍での特色のある取り組みがあれば教えてください。

### <コロナ禍での新しい企画など>

- ・高齢者（75才以上）に対し絵ハガキでポスト投函しており結果、ボランティアでハガキ作成された方にお礼の電話やおあいした時にたいへんよろこんでおられました
- ・イベント開催ではなく、自治会費還元という名目で、地蔵盆のお下がりとして、敬老世帯以外の世帯に物品の配布
- ・敬老の日のお祝いは、予算の制限の代わりに、子供からのメッセージを入れて配布
- ・夏まつりは中止し、屋外での福引きのみとした
- ・訪問事業で、感染予防商品を配り、安否の確認を
- ・行事等が行えない中、「自治会ニュース」の発行は継続し、情報発信を続けている。会費の還元のため、昨年度は、会員全世帯に日用品セットの配布を実施。今年度は、防災意識向上の為に声かけと、備蓄水の会員全世帯配布を実施予定。
- ・コロナ禍で毎年の地蔵盆行事は出来なかったが住職を迎え地蔵供養、コロナの収束、住民の健康と安全を祈願した

### <運営の工夫など>

- ・組長会議を2班もしくは3班に別けて会議を開催（参加人数の抑制）、懇親会の中止
- ・役員会が開けないので、（会場の東部コミセンや陽東苑がコロナで使用できないため）大型封筒でポストインで書類をやりとりして意見集約しています
- ・自治会内（町内）の情報共有のため掲示板を活用。自治会員は回覧版で情報提供可能だが、非会員（未加入者、退会者）は掲示板しか情報取得の道がない。未加入者にも理由があり、退会者にもそれぞれ理由がある。同じ町内の生活者であり、情報は提供したい。
- ・去年の役員さんはLINEを利用されました
- ・ZOOM会議を開催（うまくいかなくてLine会議参加できる人だけになった。）挑戦。
- ・連絡を、メールラインにして会議の回数を減らす。
- ・アンケートを使って在宅で役員会を行う
- ・役員会を開催する毎に「自治会便り」を発行し、回覧をお願いしている。今、役員会が何を論議し、どう取り組むのかについて発信している。
- ・自治会の運営について、何割は電話事ム依頼、協力を求めています。
- ・コロナ禍で活動が減り、会費について少し余剰が出ることがわかったため、後期の会費については集めないこととした。
- ・人が集まる会議の開催は必要最小限にとどめ、ふだんは電話や書面をポスティングすることで情報共有をはかっている。（集まらないことでリスク回避）
- ・特にないが、役員会で今後の自治会について役員が話しあう機会を設けている
- ・スマホのLINEで役員のグループをつくり、活用している。

### <その他>

- ・コロナのため上記取り組み（市※セミナー、自主勉）が出来なくて残念に思っている。

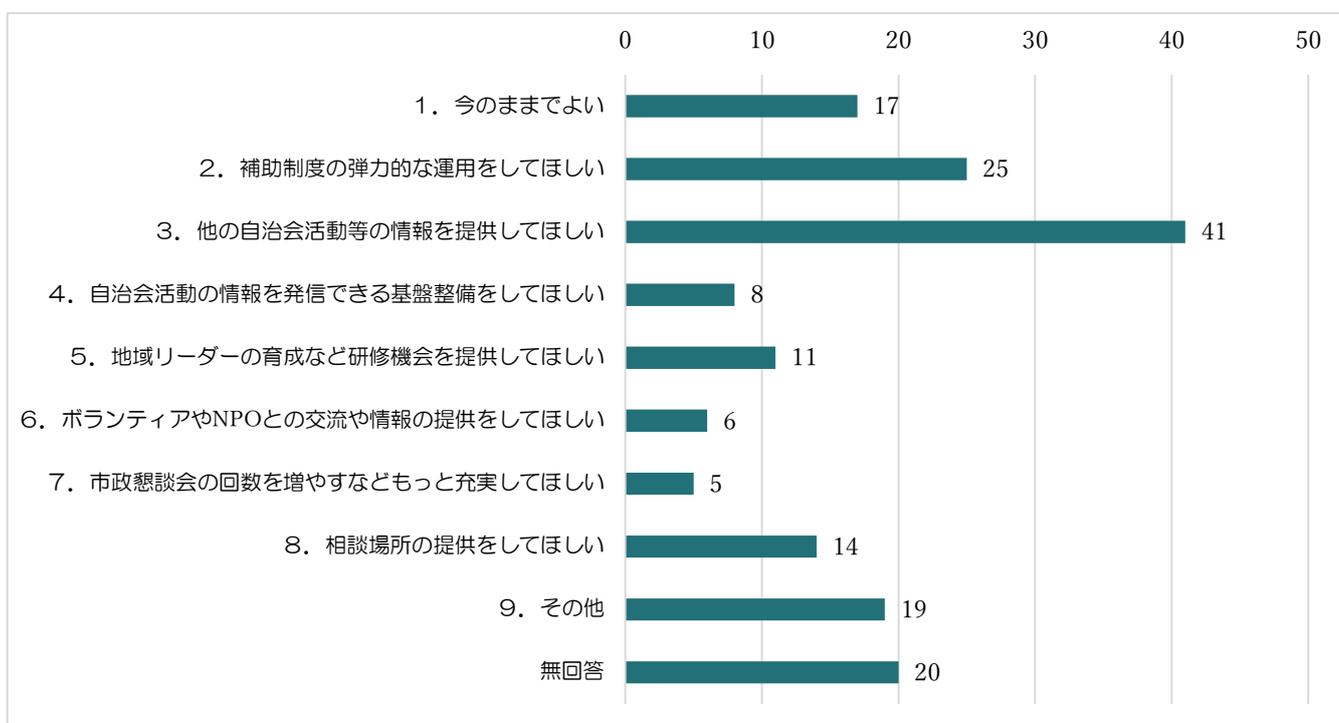
- 今は、何も出来なくて状態です。
- 桜の名所であるが落葉が大変。現在は近所の方が自主活動として、略毎日掃除していただいているが、古木が多く朽木の枝の落下が心配。定期的な選椋をお願いしたい。
- こまっています。①城陽市の取り組み方針、理念等がまったくまったくない。なんで…どうして… ②コロナ状況：まったく状況報告・情報連絡なし。市の言動は極めて悪い。 ③市長→議長→各議員の連携を勉強してください。
- エレベーターに乗る時は管理組合、自治会共、マスク着用を促している

※全て原文のまま記載しています。

### Ⅲ. 市からの自治会活動支援について

Q1. 自治会活動を行う上で、市からどのような支援が必要だと思われるか。  
当てはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 今のままでよい
2. 補助制度の弾力的な運用をしてほしい
3. 他の自治会活動等の情報を提供してほしい
4. 自治会活動の情報を発信できる基盤整備をしてほしい
5. 地域リーダーの育成など研修機会を提供してほしい
6. ボランティアやNPOとの交流や情報の提供をしてほしい
7. 市政懇談会の回数を増やすなどもっと充実してほしい
8. 相談場所の提供をしてほしい
9. その他



市からの必要な支援として、「3. 他の自治会活動等の情報を提供してほしい」の回答が最多であった。自治会運営で様々な問題や課題を抱える中で、他の自治会の活動を参考としたいと考える自治会が多かった。

また、「その他」にご記入いただいた意見として、

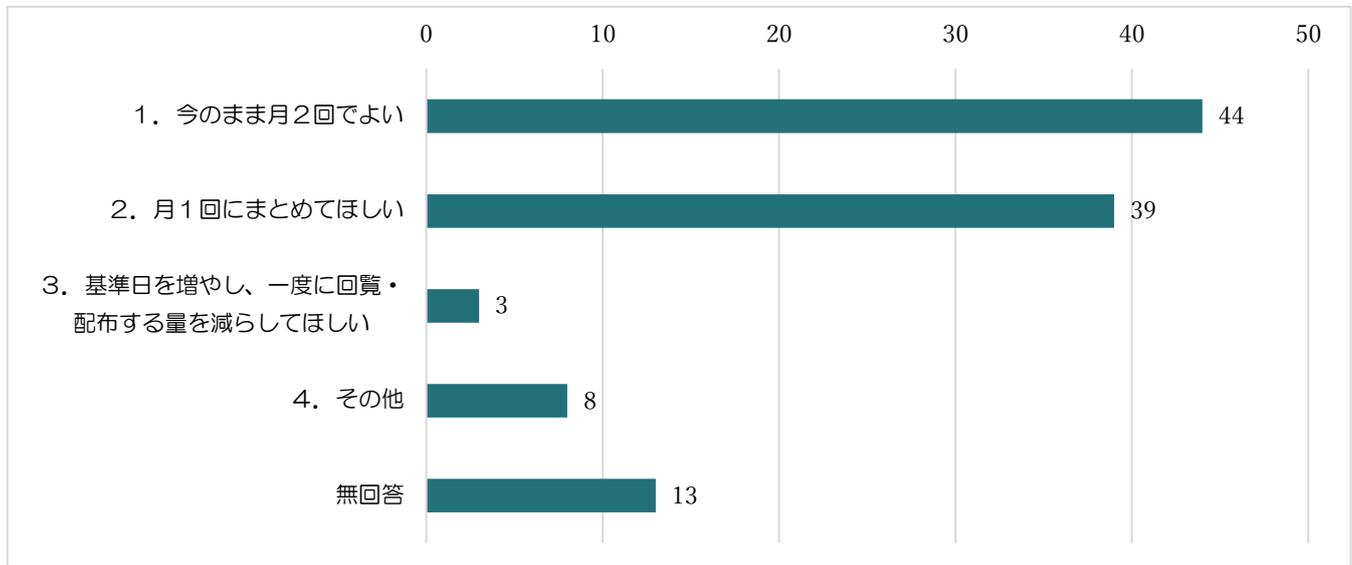
- ・配布物やイベントを減らす
- ・活動運営の具体的なマニュアルを作成してほしい
- ・校区同士の連携
- ・自治会は本当に必要なのか再考してほしい
- ・自治会退会がデメリットとなるような市からの助成制度を考えてほしい

などの意見があった。

「その他」の回答内容は、p.48 に記載しています。

Q2. 城陽市から自治会へ依頼している回覧物は、現在月2回の基準日を設けていますが、その回数について教えてください。

1. 今のまま月2回でよい
2. 月1回にまとめてほしい
3. 基準日を増やし、一度に回覧・配布する量を減らしてほしい
4. その他



自治会へ依頼している回覧物については、「1. 今のまま月2回でよい」を選択した自治会が最も多かったが、「2. 月1回にまとめてほしい」と答えた自治会も多かった。

また、「その他」の意見として、

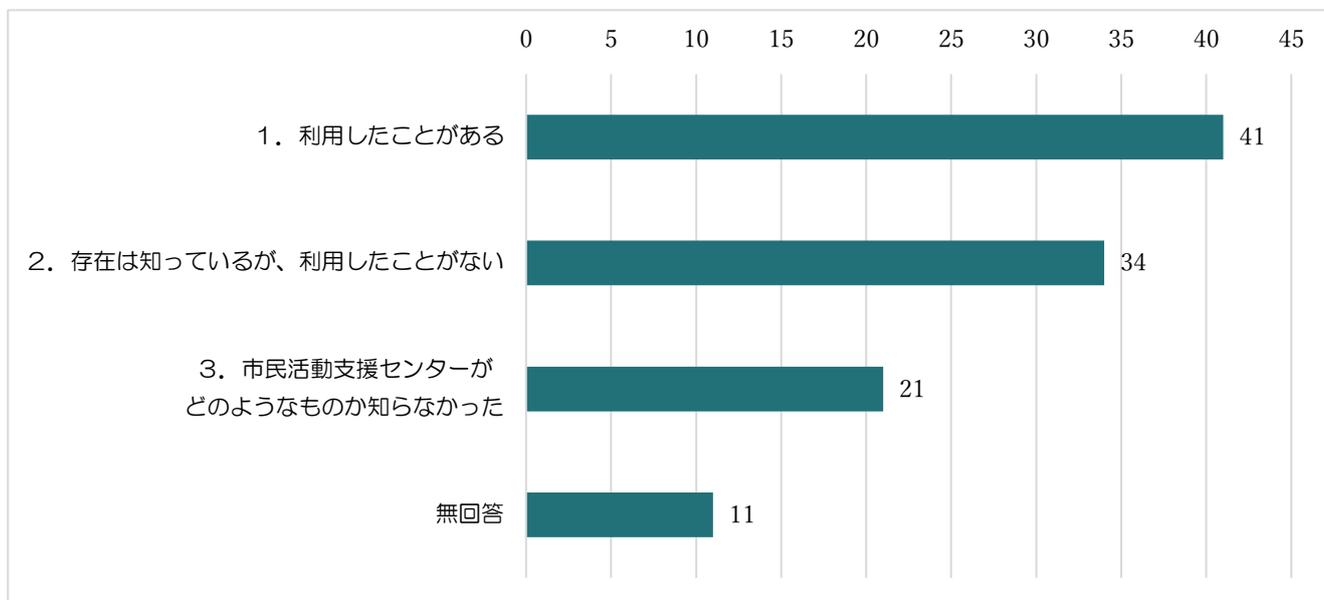
- ・月2回の基準を徹底してほしい
  - ・市役所ではない他団体が基準日の合間に回覧物を送ってくるのをまとめてほしい
  - ・月1回でも多すぎる ・紙のむだが多い ・ネット配信してほしい
- などの意見があった。

「その他」の回答内容は、p.49に記載しています。

Q3. 文化パーク城陽の地階にある市民活動支援センターでは、カラー対応の印刷機や裁断機、ラミネーター等の使用ができます。

自治会として市民活動支援センターは利用したことがありますか。

1. 利用したことがある
2. 存在は知っているが、利用したことがない
3. 市民活動支援センターがどのようなものか知らなかった



市民活動支援センターについて、利用したことがある自治会が最も多かった。

欄外への回答内容は、p.49 に記載しています。

Q4. 自治会ハンドブックや自治会だより等で提供してほしい情報があれば教えてください。（例：ほかの自治会の特徴的な取り組みなど）

＜他の自治会の活動事例紹介など＞

- 他の自治会の参考になる情報
- 各校区における自治会活動について詳しく情報等をお願いしたい。
- 自治会や地域でとりくんだ行事・自治会史の編さん事業などの紹介
- 例題の件（ほかの自治会の特徴的な取り組みなど）

＜内容の改良やデータでの提供など＞

- 自治会お助けコンテンツ（様式集）はありがたい企画です。自治会加入おすすめパンフなどデータで利用できるようにしていただきたい。
- 自治会があってあたりまえのような考えで、処務的な内容ばかり。四役だけではなく、役員全員に配布し、その時だけでも、これからの自治会のあり方を伝えることや気付きを与えることが必要では？
- 毎年ハンドブックを発行する必要性なし。変更事項のみでよい。同じような紙がいっぱい配布され、紙のムダ使い。
- 自治会ハンドブックには、初めて自治会長になられた方でも自治会活動や運営について分かりやすく説明するものに作成し直してほしい。今の情報量では不十分。（ex.「自治会会則」の作り方～「総会（書面議決含）」のやり方…等）

＜加入促進や加入率維持についてなど＞

- 自治会加入のメリットを整理し、提供してほしい。
- 退会者を出さない方法。加入者には、声をかけなくても加入になる方法。

＜その他＞

- 内容も、大変工夫していただいていると思います。
- 防災への取りくみ等
- 城陽市10自治会連合会の状況知りたいものです。なんで…どうして…城陽市自治会連合会がないんでしょうかね。→市連合会の発足？（子ども会、体振、PTA…はあるのに…）
- 公園除草のとり組み（シルバー人材センターへの依頼予算化など）

※全て原文のまま記載しています。

## IV. その他

最後に、自治会長を務めておられる中で日ごろ感じておられることや、自治会活動活性化へのご提案など、ご自由にお書きください。

### <自治会活性化への提案や要望など>

- 自治会員が減少する中、高齢者及び子供達への行事を考える
- コロナ禍中でも市政懇談会は必要。校区毎に開催もしくは3回程度に分けての開催。
- 先日市長選挙の投票所管理者をやって思ったことです。①拘束時間が長すぎる。AM6:45~PM8:45で14時間、途中で食事休憩が30分×2回、役員の高齢化が進んでおり、体力的に大変でした。②日当が出ていますが、時給にすると京都府の最低賃金レベルですね。これでは自治会の役員だからといってもやり手がなくなると思います。民主主義の根幹である選挙を守っていくためにも改善が必要だと思いました。(途中交代を認めるなど)←これは選管への要望になると思うので伝えてください。
- こういったアンケートもHPで回答できるようにしてほしい
- 申請もHPでやれるようにしてほしい
- デジタル化がおこなわれている。ペーパーレス化。
- 会員さんに集会所や公園の除草や木のせん定、時計のポールのペンキ塗り等ボランティアで作業されています。感謝状など考えて欲しい。
- 年に1度、定期総会で大量の資料を印刷しますが、コミセンなどの印刷代がとても高額になるため、コミセンでの自治会総会資料のコピー代は割安にするなどしてもらえるとありがたいです。また、東部コミュニティセンターのコピー機の機能アップしてほしいです。(印刷スピードが速く、ステープラも使えるように)今年の総会資料をコピーするのに、4時間以上かかったが、改善されなければ、利用者はどんどん減っていくと慮されます。是非改善して下さい。
- 別ですが、コロナの中での選挙ですが、注射も個人判断の為横の席などの人の距離をもう少しとるべきではないでしょうか。テーブルではなく、1人1つの机などの必要かと。選挙会場どこをみてもとなりの方などとの距離が近いように感じました。10月などにもありますがもう少し考えて頂けるとたすかります。
- (体振)区民運動会の種目が義務化されており、気楽に見学や顔合わして、様子を見に行くことすら迷惑に思われるのではないかと思うような状況になっている。種目で対応する楽しさも必要だが、突然帰省してきた子供、孫なども見に来て、参加できるような種目も必要なのではないか?(タイムスケジュールに余裕を)(希望者全員参加種目の導入も…じゃんけん大会等)
- コロナ禍に関係なく自治会離れが目立ってきている。行事、福祉活動、集会の参加が遠のいていっている。自治会参加することで地域にとって得(プレミアム商品券、割引券)があればと思う。また、ゴミ袋の配布とかも良いのでは。
- 市広報などで、自治会活動の重要性(意味)や、自治会加入のおすすめなど広報をすすめて

いただきたい

- 大災害時の自治会（会長 or 役員）への連絡伝達のシステムがあいまいなので、連合自治会經由含めて、連絡の仕方を明らかにしてほしい。
- 寺田コミセンのふれあいだよりをポスティングに変更してほしい。役員の負担を軽減の為
- 自治会員が減少して行く中での公園や集会所の管理に関して今後の方針を明確にしてほしい。
- 当該自治会区域の世帯総数を出して欲しい。直近の自治会加入率を把握する為
- 少子・高齢化になり、成熟社会を迎えて、多様化のなか自治会運営が難しくなっています。特に組織について今検討中です。行政の方も補助金・情報の発信等でありがたいのですが、もっとインパクトのある支援策を考えてもらいたい。
- 自治会役員が自治会加入を呼びかけると、サークルの加入や宗教加入のような印象を相手がかうけて、サークルや宗教との違いの説明が難しい。自治会に入っていないと受けられない恩恵を（入らないと損と思わせるような）作り、それを強調した広報を、誰もが見るような媒体を使って、城陽市として出して欲しい。
- 自治会より相談や申請等の自治会に関わることは市役所内の窓口として支援課に一本化して活動した方がノウハウが蓄積されやすいし、自治会としても、スムーズに事が進めることがあると思う。このようなアンケートも特に必要なくなると思う。自治会長会議も4月中に開催し、資料等も早く送付した方がよい。
- 自治会に入会する事のメリットを考える。会員にPRしたい事 ①自治会活動により防犯活動にもなっている ②環境活動貢献している ゴミステーション管理 ③街路の安全対策・確保
- 自治会活動用の市内自治会共同ホームページの開設。
- “すぐやる課” 的なちょっとした困り事などを時間をおかず処理するセクションの設。
- JR 奈良線複線化を契機として、若い人達が住みたい、子育てをしたいと思うまちづくりを行い、活動活性化の基礎となる「人口増」の施策の展開。
- 安全日を制定し季節毎にでも3者（行政、警察又は消防、自治会等）パトロールは如何。
- 市役所の土日開設又は平日夜間も対応してほしい。公園の管理も市で行ってほしい。（遊具等）

#### <不安に思っていることや困りごとなど>

- 極めてまれな自治会構成の為、またあと数年で超高齢化となりますます、運営がきびしいと考えます。その為、存続か解散かを選択する時期を考えますと、市の応援は必要と思います。
- 市、コミセン、学校、社協、警察、青少健等の配布物がばらばらに来るため、組長への回覧等が続くことがある。
- 社協からの依頼で募金の回収はかなりの手間と労力が必要。
- コロナ禍で行事やそれに伴う会議などが全て中止になっている為例年よりかなり作業量が少ないはずなのに、それでも負担に感じる事が多いです。今年初めて引き受けましたが次の機会には引き受けたくありません。
- とにかく負担が大きい（運動会は必要か？）

- 住民の高齢化が進み、役のなり手が減ってきています。住民は多くても、役のなり手が少ないと運営が難しく、将来どうなるのか、心配です。
  - 市や各団体から自治体への要請が多すぎる（・特に安易な要請 ・資料の送付。安易に量が多すぎる）
  - コロナ禍で回覧するのもいいものなのか？どう思われているのかと思う。
  - 公より私が優先になり、自治会の役割の理解が薄くなってきているように思われる。災害時の折、会長としての役割、心がまえを常に意識しなければならないのが、とても不安である。
  - 自治会の創立45年経過するなかで、ひずみがでてきています。その結果として退会者が増えてきていることです。1年任期の本部役員・班長さん選びで、順番制のなか話し合いで会長以下決めてきましたが高齢者になって問題が生じています。
  - 空き家で雑草や木が生い茂り困っています。どこへ言えばいいですか？
  - 会長になると、それまでの役と比べようがないくらい忙しくなりました。今年はコロナ禍で、例年通りの行事が行なえず、行事・会議のたびに実施すべきかどうか悩まされています。
  - 自治運営について、少子化・高齢化の対応等でむずかしい課題が出ています。特に高齢者の悩みが多く対応が大変です。
- 
- 自治会員内でのジェネレーションギャップが大きい。（SNS など）
  - 高齢化のため、運動会への参加が難しい。
  - 行政からの書類が多すぎる。会議だの参加せよだの、まとめよだの、なんでも自治会やボランティアに求めるのではなく、行政の取り組みを充実させてはどうか。緊急対応で急に仕事が入ることもあるのに自治会活動のために仕事を休んだりしないといけないのはどうかと思う。自治会活動のために休み希望ばかり言うと業務にさしつかえる。生活のためにクビにはなりたくない。また、そんな状況でも5～6年で自治会の役員が回ってくる現状。すでに自治会組織はひへいしている。会員増やすには…と言ってもすでに認知症のみの世帯や歩行困難な老夫婦のみ等の世帯、空き家等も多く、役員の仕事ができる住民は少ない。こんな状態でどうしろというのか、行政のないものねだりだと思う。府から市に権限移譲され市も業務が増えて大変なのだろうと思うが、ボランティア組織に投げすぎ。そもそも自治会って必要？
  - 自治会の会員数の流れは、退会者＞新入会員の状況で今後も超高齢化が進み、会員数の確保と運営が厳しい。

#### <自治会で実施・検討していることなど>

- 平成29年に個人情報保護法が改正された。当時の自治会だよりなどで、各自治会にお知らせがあったかどうかはわかりませんが、自治会会則などに個人情報保護に関する条項がないために、今更ながら会則の改訂を試みています。今回公開された自治会の規約例にも、個人情報保護に関する条項なく、検討必要ではないでしょうか。横浜市などの例を基に改訂検討中です。
- 自治会の活性化とは… 自治会活動のうち、子供や若い世帯が多かった時代の活動と同じで

はなく、老人会などの活動を支援し、自治会では、住民活動、防災などの活動にしぼっていてもよいのかもしれない…と考えています。

- 会員が感じている事をアンケートを取って管理組合や役員と話し合っただけでなく、会員の利便性を考えて報告している
- 燃えるゴミの日（月・木）だけでも、ゴミの出し方、カラス対策を考え、管理人が来られる前（6:30～7:00）にネットが大きく使用出来るように直している。出し方を考え協力してくれる会員もいるので少し良かったと感じています
- 一般会員の方が役員がどんな活動をしているのか、ご存知ない事が多く感じられました。今年は、できるだけ、市や警察などに要望を出し、実現した事等、回覧等でお知らせしております。発信が大切だと思いました。
- 今年度の役員（組長）からの会議での発言。自治会で各年で防災編成表を作成しているが、形式的なものであり、実際に災害が来た時には約に立たないのでは？ ※市役所に相談したが、明確な回答なし。現在、他自治会、他行政に確認中。

### <その他>

- 自治会の活性化。私の子供の時の自治会は、どこの自治会も活力がありました。大人が団結して、何かを、してくれていた。毎年の大型バスでの日帰り旅行、地蔵盆等は楽しかった。高齢者クラブや自治会で、借に大型バスをチャーターして日帰り旅行をした場合、そして毎年実施したら、近所づき合いが、より一層、密接になると思う。その為には、旅行代金、昼食代等を自治会で負担する事になる。個人負担となると年金生活である高齢者であるため、行かない人がいる。（追加料金が必要な為）<自治会活性化活動補助金の増額、創設を望む。> 高齢者クラブで、伊勢神宮、舞鶴引揚船、美山茅葺きの里、湯の山温泉へ行きましたが、その後、人間関係が生まれ、自治運営も協力者が増えました。（市のバスを活用して）
- 常に考えていることは、自治会活動に関心が無い人に如何にして関心を持って参加してもらえるかということ。それには、あらゆる年代の人々が喜び参加できるイベントを用意して実際に参加してもらうことが必要。地蔵盆なら子供用の催しや屋台、マンガ読み放題のコーナーと、一方大人用には生ビールと焼き鳥のコーナー。各年代の人皆が参加できるイベントにしたい。又、常に集会所を開放し、そこには、お年寄りが集い、若い子育て中のお母さんが困ったときには子供を預かってくれる、相談に乗ってもらって昔の知恵で的確なアドバイスをもらえる。家に帰っても誰も居ない淋しい小学生が集会所に行くと同じ境遇の子供が居て一緒に遊んだり、宿題をすることが出来る。上級生が教えてくれたり、お年寄りが本を読んでもくれるかもしれない。一昔前まではごく普通の日常を味わえる集会所にしたい。
- 今回、会長という立場を初めて経験し、改めて、負担の大きさを痛感しています。自分が組織の責任者という意識が常にあり、種々の項目に対処しなければならない精神的負担が大きいと感じています。自治会を退会される理由として、役員の負担>会員のメリットを言われる方が非常に多くなっています。会員の高齢化が進めば進むほど、上記の傾向が強くなり、現代社会に応じた会員メリットを示さない限り、この傾向は続くと思われます。
- 20年、30年前の自治会に加入することで会員の相互扶助があつてメリットがあつた時と

時代がかわってきている。現在は行政サービスが行き届き、自治会に加入するメリットがほぼない。個別最適化された生活になり、自治会活動をする必要がなくなってきている。

- 自治会員様みなさま高齢化がすすんでおり年々役員になられますと負担する事が多いと思います。一人一人が協力し合っておりますが役員になると中々人にたよることもできないのでは？と思います。
- 自治会住民の高齢化にともなう退会者の増加による事。自治会活動に関心が無い人が多い。（若い世代）そもそも、自治会には加入するが役員を、やりたがらない。（高齢者）このままでは、自治会を、解散するしかないようになってしまうかも。
- 公園管理について。この間、①公園内のカンバンの修繕、②木製ベンチの修繕、③ゴミ収集をお願いして、すぐに対応していただき、喜んでいきます。管理課維持整備係のみなさんによるしくお伝えください。
- 活動が時代にあっておらず、若い人に魅力を感じてもらえない
- 生活するうえで、自治会加入のメリットはどこにあるのかと考えてみたが加入しようが、未加入であろうが、余りかわらないと思われる。自分自身が理解していないのかもしれないが、これでは未加入者・退会者が増加するのも無理はない。未加入であっても、市への要望事項は自治会役員がやってくれる。ゴミの回収管理、自治会内清掃活動も同様。夏祭り、区民運動会は興味がないのでむしろ有難い。これが現実だと思います。結論から言えば、自治会加入のメリットを明確にして加入者を増やすことが大事だと思います。組長、役員の任命は事情を考慮して運用してゆけば良いと思います。
- 輪番でなく熱心に活動される方がおられるといいのですが…。
- 各家族化が進むなか、一人立ちした子供達は出ていき、年をとった親だけが残る高齢化地域となっている。年寄ばかりの自治活動としてこれまでとは異なる運営を考えねばならないのでは？
- 無感心層が多い。昔のような「向こう3軒、両どなり」というようなことは望めない。この状況のなかで、共助というのが期待できず、自治会加入するメリットを何か打ち出す必要あり（自治会に入っていないと困る何かがある）
- 近隣の自治会から、弊自治会住民が、近隣自治会のステーションに置く人がいるというクレームが数年おきにあります。場所によって8：30には回収がされてしまい、数分遅れ「置かせて下さい」と頼んでも、絶対に置かせてくれない、そのために城陽市から「他地域から持ち込まないで」の看板もたててもらった、との抗議ももらっています。衛生センターに問合せ、「他地域」とは、城陽市以外の地区のことですと説明頂きましたが、誤解されている方もおられます。回収頂くのは城陽市の方であり、市民のゴミを回収頂くという意味ではどこに置いても持って行っては頂けますが、ステーションごとの管理は、管理者を決めているのでしかたがないとは思いますが、ご近所同志でもうすこし寛容になればいいのになあと思います。弊自治会には再度の周知を行いました、クレームなどの処理をすると気持ちが凹みますし、誰でもが引きつけられるものではないなと感じています。
- 最近、「自治会員になると会費を徴収され、役員の仕事まで担わされる羽目になる」、「役員になるくらいなら自治会を辞める」などの話をたまに耳にする。価値観の多様化や高齢化の進

展で、自治会への帰属意欲が薄らいでいることを示すものと思われる。自治会の本来目的は、住民相互の協力によって親睦を深め、生活環境の改善を図り、安全で安心して暮らせる住みよい地域づくりにあるとおもいますが、ややもすればその大切さを忘れ、一部のことに目が囚われがちになることが原因の一つのように思われる。今一度自治会の存在意義を共有し、時代と会員のニーズに即した取組みができるように、自治会活動を全体的に見直すことの重要性を強く感じている。

- 旧村だけでなく、高齢化。少若年者が課題ですが、増やす方法がなく、現状でどう乗り切るか。難しいです。水度神社の祭事等も、今後どうなっていくのやら… 娯楽の無い時代と違い、又、多様性の中で、自治会をまとめるのは大変です。不要論も一理あります。
- 自治会とは何か。時代の変化に自治会がついていけない。今や自治会は親睦を深めるためや地域住民の健康維持を目的にしているとはいけないと思う。私が考えるのはまず、自治会の役割を、防災に特化すること。防災に特化することで、若い人を中心に興味を示し、積極的に参加してくれるようになるのではないかと。市役所にはそのための啓発活動もぜひお願いしたい。それから、体振からの区民運動会をはじめとするイベントについて、自治会に参加者を募るのをやめてほしいということ。このコロナ禍で各種イベントがなくなっていることを皆喜んでいるように思う。行事がなくてよかったねと声をかけられることもある。市民の健康のため、親睦のためのイベントなどは、子ども会や老人会と連携してすればよい。なによりも、老人ばかりで引き受け手がいない役員の数も減らせるのではないかと。また、同じ市に住みながら、新興住宅地などでは自治会がないところもある。自治会がない地区の人に不便があるかと聞いたら、全くないと言われた。自治会がある地域では、地域で公園の掃除、遊具やごみ集積所のネット、街頭などを点検しているのに、自治会がないのにもかかわらず同じ市民税というのは不公平感が募る。これを解消するため、自治会に加入すれば、市民税が10%安くなるとか、一人1万円城陽市内で使える商品券がもらえるなど何かメリットがあればよい。そうして、自治会のない地域にも自治会を作らせるよう促せばよい。さらに、自治会がなく、子ども会ならあるという住宅街の人からは、子どもたちが区民運動会に出られないことを不満に思っているときいた。これについては、体振が自治会ではなく、やはり子供会と老人会向けに参加を呼びかければ、解消する問題だと思う。自治会とは住人の自主的な任意の活動というが、古い住宅街ではそこに住む普通感覚のある人にとって、入るべきものというしがらみがまだある。もし入っていないと、ちょっとおかしい人のように見られる。ある程度年をとると達観して、もう年だからやめるというが、独居老人になり、誰が見守ってくれるのだろうか。防災、環境整備のために自治会の力が必要ならば、市が主体的に、防災に特化した自治会へ向けての研修を行い、高齢者の多い城陽市にふさわしい新たな自治会へ導く必要があるのではないだろうか。以上、会長として日頃感じていることを述べた。ぜひ、これらの意見を取り入れていただきたい。
- 地主さん了解もとのゴミ指定集積場所には、自治会の会員と非会員が混在しており、どちらもが城陽市民で市のゴミ回収を利用していますが、ゴミ散乱防止ネット購入費3分の2は補助金が出ますが（上限3000円）、残りの3分の1は自治会が負担しています。非会員は負担金がありません。このことが話題になる事があります。

- 公園の美化運動について… 利用度の多い児童公園にはペットボトル、健康ドリンクびん、弁当・アイスクリーム容器、ビール缶、コーヒー缶、たばこのすいがら、食べ残し・飲み残しが…ある日がある。(持ってきた物は持って帰るがマナーなので「ごみ箱」は設置していない。
- 公園の傍に設置している掲示板のイタズラ…ポスター押さえの透明ビニール板がはずされていて、公園の中央部に置かれていた。掲示板は全部はがされている
- 時代の流れと共にスリム化し役員の負担を少なくすることが会員退会の防止に繋がるのが現実的な解決方法であると思う。
- 諸活動をスムーズに実施する基本は眼と眼、顔と顔を合わせる事でしょう。紙のみはNG。市役所内は会議してありますか？役職会議もしてありますか？しているんだったら…なんで自治会長連絡会、全体総会やらないんですか？アンケートより先にやるべき事あると思いますが…。
- 自治会内の美化、安全安心な町作りは必要なので、スリム化の中でも積極性をもち取り組むべきであると思う
- さきほども記載しましたが、多様性の世代になり、夫婦共働きが増えてきている中、働く世代が会長・役員をする事に疑問を感じる。行政として自治会に対し、対応してほしい。現役世代が自治会活動をする、時間が無い等の理由から、活動が疎かになり、また、いやいや作業になってしまう。また、年配の方の役員免除等の制度があるので若い世代の退会者の加速が懸念される。今年も役員の方からそのような相談を何件かうけている。誤字、乱文ご容赦下さい。以上
- 現役で仕事をする中での活動は基本、休日となりますが、突発的な事が起れば対処に困る事が有る、又、今迄市や自治会の活動に余り関心を持っていなかったが郵送されて来る回覧物を配布する毎に市民活動支援課や都市政策課等の各課の活動が身近に感じるようになった
- 自治会活動活性化がもはや不要と感じる。自治会があってもなくても、自治会などボランティアに頼らず市民生活を充実させる行政の活動が必要。
- 自治会の会員は最近若い人の未加入、高齢者の脱退が出始めている これは多くの自治会は役員が持ち回りで役員になるのを嫌がっているからだと思う、当自治会では役員の仕事を出来るだけ軽減するようにし、実行しているが何処まで上手く行くか判らない。又、事務作業でパンフレット作成等の作業がパソコン等が無くうまく作成出来ないのが変わって作成をボランティアで作成できる所があれば良いのだが？
- 最近、高齢化による役員のなり手不足が問題となっています。また、コロナ禍もあり、退会者も増えています。「自治会の必要性が感じられない」「メリットがない」等の理由が多い様です。今まで、当たり前だった事が通用しなくなってきました。ただイベントや行事だけでつなぎとめるのではなく、本当に必要だと感じてもらえる努力をしなければいけません。

※全て原文のまま記載しています。

## 令和3年度城陽市自治会アンケート調査 「その他」などに記載された回答について

### 【I. 自治会の概要について】

Q6. 自治会役員に対し、手当（お礼や報酬等）を渡していますか。（その他回答）

回答は、p.7 にまとめています。

- 会長：25,000 円（会長渉外費として）
- 会長：4,000 円（10 月、3 月 各 2,000 円）  
副会長：3,000 円（10 月、3 月 各 1,500 円）
- 会長、副会長 0 円  
体振：商品券 5,000 円分  
体振以外の組長：商品券 3,000 円分
- 会長、副会長、会計、サポート隊：商品券 500 円分
- 会長：86,000 円（交通費 36,000 円含む）  
副会長、会計：30,000 円
- 会長：20,000 円  
副会長、会計（兼任）：15,000 円
- 会長：40,000 円  
副会長：20,000 円  
会計：30,000 円  
その他役員：2,000～10,000 円
- 会長、副会長、会計：10,000 円  
各組長：5,000 円
- 会長：10,000 円
- 会長、副会長、会計、組長：500 円
- 会長：20,000 円  
副会長、体育委員長：5,000 円
- 会長、副会長、会計：商品券 5,000 円分  
監査、組長：商品券 2,000 円分

## 【Ⅱ. 自治会の活動や困りごとについて】

### Q2. 自治会の活動や運営で、どのような問題や困りごとがありますか。（その他回答）

回答は、p.9~10にまとめています。

#### <負担に感じることなど>

- ・社協関連の依頼が多い。社協と自治会の関係？会員の勧誘資料配布、会費の集金事務、募金年3回 自治会員はボランティアではなかなか納得しない。
- ・13（行政や団体からの依頼事項が多い）に関連して、“体振”からの区民運動会含む行事は、自治会には不要と考えます。負担が大きすぎるため、老人会や子供会を中心に参加をよびかけては？自治会は防災に特化すべきと考えます。
- ・会長の負担が大きい。（苦情の対応が多い）
- ・公園そうじが負担大
- ・社協関係の募金が年4回あり、ずっとそればかり協力しているような感じがある。特に今年はコロナで他の行事を中止にしているので。回数をへらせないか。

#### <高齢化に伴う困りごとなど>

- ・75才以上は役員を辞退出来る。高齢化にともないすぐに役員がまわってくる。仕事を理由に関心が低い
- ・会則に80才以上は役員を辞退できるとあるため、半数以上が80才以上世帯になることにより、若い世帯が5年程度に1回役員が回ってくる状態。そのため若い自治会脱退が増えており、数年後には自治会が消滅する可能性が高くなっている。
- ・高齢者で一人住まいの人が増えている。集会所がなく会議場迄の交通がない（タクシー利用等）
- ・高齢による退会があり、退会すると自治会としてサポートが困難になる。
- ・高齢世帯、組長ができないため退会する人が多い。大半が高齢世帯となり、組長のなり手がいない。
- ・高齢世帯は体力的に組長が困難。中・若年世帯は仕事都合により組長が負担という理由で未加入者・退会者が増えている。

#### <役員のみなり手不足など>

- ・役員のみ受け手を見付けるのがなかなか難しい（フルに仕事があるうちは、引き受けてもらえない）
- ・組長は1年交代で輪番制。その年の組長で役員を構成。組長になる事を嫌う人が多い。

#### <新型コロナウイルス感染症拡大に伴う悩みなど>

- ・ここ1~2年はコロナの影響で自治会の活動自体が行なえてない状況。
- ・コロナ禍で陽東苑が使えなくなり大変不便。催し物、役員会が開催しにくい。
- ・選挙などコロナで緊急事態宣言がでてるのにもう少しコロナ対策をしっかりとしてほしい

### <加入率の低下や自治会離れについてなど>

- 組織率の低下、組の脱会
- マンション（ハイツ）入居者6軒中0軒が未入会。また、住居されていても未入会3軒中3軒あり。但しゴミステーションは利用されるが（住所地他もあり倉庫やガレージ）当番はお願いしていない。（あたり前とを考えておられるのか？）ふしぎな方達あり。

### <その他>

- 校区内の取り組みに留まり、城陽市全体の取り組み事項が判らない。
- ゴミすて場（ゴミの散乱、カラス被害など）問題への対応が難しい
- 2年前までは輪番制で、1年が過ぎると新しい人員で継続性がなかったが今は前年度の役員が何人かは残っているので、「昨年はどうだった？」ということが伝わりやすい。
- 本年の8月まで20数年間、連続して自治会長を引き受けてくれていた方が逝去されたため、来年以降の自治会運営が難しくなるのではないかと考えています。
- 役員の引き受け手は年度により違う。／若い転入者一部未会員が多い（メリットデメリット説明している）／高齢化しているので令和2年度85才以上は免除した。
- 会員の皆様のすいせんで自治会長をしていますが、何回か継続していますと、来年は「このようにしていこう」という改善案が建てられます。やはり、会長・体振部長又は、役職の名前を新しく変え、役職内容を明確にする必要がある。例：自治会運営部、スポーツ部、広報部、倶楽部等、防災部等。又、補助金（市の）も各部へ出してもらえば、活動の範囲も広がるので。

Q3. 自治会活動の充実には、どのような自治会の取り組みが必要だと思いますか。  
(その他回答)

回答は、p.11 にまとめています。

<自治会存在意義の再確認や周知など>

- なぜ必要か？城陽は災害も少なく、自治会の重要性を説明できる人財が必要と思う
- どの様な自治会を作るのかと云う、ビジョン・コンセプトを示すことが必要。単年度の取り組みに終わる事なく、持続性、継続性をもって活動を進めていく事が重要。(例えば防犯・防火に強い…安心・安全な街づくり etc.)
- 自治会の存在意義を周知させる取り組み
- 自治会員としてのメリットが少ないのでなんとか会員のよさを出したい
- 自治会に加入していることのメリットは？加入していないとこういう不便なところがあるというようななにかがあること。
- 自治会は、その地域の抱える公的な問題解決の為や、災害時に連携する為に必須な団体だと思うので、加入促進ではなく、意識改革が必要。自らを、安全安心に住める場所作りの為の意識作り。
- 同じ地域に住む人との関係について、理解が必要。自治会がなぜ必要なのかを住民に説明すること(市としても)
- そもそも住民が自治会活動にあまり理解がない方が多いので自治会活動の充実が成り立たないと思います。自治会住民の意識の無さがあると思います。めんどくさい事はいや！みたいな所
- 他の自治会の運営活動で楽しい、活性できた内容の報告の紹介を行政が紹介する。自治会からの発信が必要です。
- 自治会活動そのものの意義が分かりづらくなっている。加入していても、していなくても、あまりかわらない。

<負担を減らす取り組みなど>

- 自治会活動のスリム化が望まれている。
- 運動会などの負担をへらす(数年に1回でOK)

<新型コロナウイルス感染症対策など>

- 今はコロナの流行がおさまるのを待つ。命あってのこと。
- 去年と今年、コロナ禍の状況次第で3年間従来の自治会活動ができない場合、コロナ禍後の活動において、引き継ぎがなされていないという場面が生じた場合の対応に備える必要はないのでしょうか

<自治会同士の連携など>

- 1自治会の活動に留まる時代ではない。校区内の取り組みに留まらず、市全体、同一歩調、同一取組み要す必要あり。

### <高齢化対策など>

- 自治会活動は、アフターコロナの新しい生活様式に合わせた新しい活動にすべきと考えます。高齢者は多く、元気で時間もあり、高齢者向けの活動は充実させ、若者には負担のない程度の（子供たちを介した）活動に参加してもらうなど。
- 高齢者や一人暮らしの人は無理のない活動参加を呼びかけ
- 高齢者の増加に伴う高齢者向けの業事の充実

### <その他及び市からの支援について>

- 特に〇をつけるようなものがない
- 自治会の必要性を感じられない。
- 全体的に自治会の意味そのものがうすれてきている
- 自治会まかせではない行政のサポート
- 自治会がなぜ必要なのか、もっと考え伝えていく必要がある。城陽市が自治会を必要とするなら、市が主動となって新興住宅地も、古くからある地域もまとめて、防災に特化した自治会に導く必要があると思う。
- 未加入世帯には、市に住民届けと積極的な自治会入会を促して欲しい。（半義務化的に？）  
→入会メリットとデメリットを資料作成するとか！

#### Q4. 未加入者に対して、加入促進を行っていますか。(その他回答)

回答は、p.12~13 にまとめています。

#### 【行っている その他(工夫されていることなど)】

##### <訪問などの勧誘>

- ・転入者があれば様子を見て声かけ、加入促し
- ・引っ越し等で新しい住まれた時に役員で訪問。
- ・「未加入者に対して」の意味が不明(退会者には勧誘はしていない) 積極的な勧誘ではなく、「あくまで任意」と説明し納得して加入してもらっている。(新しく引っ越ししてきた人に対して)
- ・新しく転居された世帯に対しては、自治会で作成したパンフレットを持参・訪問し加入促進を行っている。すでに退会されている世帯に対しては、パンフレットや自治会便りを持参し、加入促進を行う予定。
- ・転入者に自治会加入案内、規約を配布し、勧誘している。未加入者全体への自治会活動のPR、加入促進をすすめたいが、チラシ作成等なかなかすすまない。
- ・転入者には、勧誘している。(ほとんど加入している)
- ・自治会の年度始めに訪問して勧誘している。
- ・一度勧誘したが、見合せられた。2度めの勧誘の時期として来年度の入会を目指し、年末までに1回行う予定。
- ・脱会者にたいして 新規役員(3役)で訪問、再加入を勧めるが、効果はなかった。
- ・意識改革をしてもらえるように、引越して来られた方に話をする。
- ・未加入でも生活に困らないと返答ある。自治活動が多いと、仕事があるので着いていけない返答
- ・事業計画、予算、会費について、説明、会則を渡している

##### <負担軽減策など>

- ・高齢者世帯等は、役員を免除。また、仕事のみの方も免除している!
- ・未加入者の言い分は自治会の役があたるのがこわいから 特に会長、一応いろいろ免除できる方策を考え話しているがなかなかわかってもらえない。
- ・組長は輪番制ですが、高齢・体調不良等の理由でできない場合は、準会員とし、町費の負担のみ依頼。又、班の集合で、組長の回ってくる期間を伸ばす。今、171世帯ありますが、未加入世帯は5世帯のみ。去年も8世帯が脱会を要望されましたが、準会員制度を説明し、理解を得られた。これも、会長を何年も経験しているからと思います。

##### <イベントへの声掛けなど>

- ・体振事業に参加をお願いしている。自治会の祭り事をして参加もとめる。

##### <その他>

- ・アパートが建設された折管理者との話し合いで管理者に自治会費の徴収を依頼し全戸

入会してもらっている。

- 期待薄のため、連絡はもうしない。(入居個別もダメ) 勧誘しても加入につながらない。退会される方には、話し合いをしているが、戻られる方はなく、再加入はない

### 【行っていない その他理由】

- 一切連絡せず。退会者の状況把握を支援課はしっかりしてください。相談課でないでしよう。支援課でしよう。年々、後退している気がしますが… 町の取組みを把握してください。区長会のように…
- 特に自治会としては行っていないが、意識ある組長様は一言、呼びかけてくれる。
- 強制はできないから
- 入居＝自治会員
- そもそも何のために自治会があるのかわかっていない、考えたこともない人が多いのでは？ただ入るべきものという考えは理解されないと思う。
- 退会者が多くなっていることについて相談はしているが、進展はない
- コロナ禍のなか、今年度はまだ行っていない。思いは毎日ありますが行動ができていない。
- 自治会に入っているメリットがない
- 未加入者が非常に少ない
- 自治会役員（組長）になるのがいやでやめていくのでしかたがない
- 選ぶ権利もある。清掃当番などはしてくれる
- 強制的に加入してもらうものではないから。魅力的な自治会活動ができていないので、加入促進は行えない
- 加入者の利益がわからない 日々の仕事に追われている
- 自治会行事に任意で協力をしてくれる高齢者が10数名、参加をしてくれているが、その次の年代の協力者が少ない。
- 負担が大きい
- 1年で役員が交代するので、前年度までの活動内容を理解して、こなしていくのが精一杯というレベルなのでそういう発想がでてこなかった
- 加入者のメリットを明確にアピールできない。もしくはメリットが会費に見合わない。
- 現在は住民の自治会に対する義務的意識が低く、又、自治会に加入しなくてもデメリットを感じないという住民が多く、加入者が無い中、退会者が多い現状があります。
- 加入を望まない方に強制的に加入を進めることも出来ないのと若者世代の方は、自治会に加入したがるらない。役員などが回ってくると、お子様をかかえて、大変と言う声も上がっています。

Q5. 自治会への加入者を増やすために、どのような自治会の取り組みが必要だと思いますか。(その他回答)

回答は、p.14 にまとめています。

#### <自治会活動の充実など>

- ・ワクワクする様な、参加したくなる様なイベントを企画する。
- ・隣り近所の方のふれあい、相談相手になる

#### <勧誘や自治会活動の周知など>

- ・当自治会はできていないが、自治会加入のメリットを整理し、冊子化することにより加入勧誘時の資料とする必要がある。
- ・訪問して勧誘
- ・ただ皆仲良く、人と関わっていたいと思っているのだろうか？防災・防犯意識を高めるなどして自治会の絆が必要であるということを認識してもらうような取り組みが必要では？
- ・現在自治会がしている仕事を理解して頂く。例えば①街灯維持の窓口業務が出来ており夜間も安心して歩くことが出来る ②消火器の設置が出来ており万が一の際は使用が可能
- ・加入者数が維持できるよう転入者あれば声かけを行う現状のとりくみを継続

#### <自治会業務の負担減など>

- ・回覧数を減らす。社協、コミセン案内は、自分で配布。 掲示板の活用（警察の毎月の書類は配布せず掲示） 希望は、楽しい自治会。子供中心の行事を増やす（子供以外で）
- ・回ってくる順番を減らす（役員が回ってくるのを10年に1度にする）
- ・体振行事などをなくす、減らす
- ・会長業務の分散
- ・4（自治会役員の負担を軽減する）、5（自治会運営を根本的に見直す）はすでに役員会でたくさんの役員から意見が出ている事項です
- ・資料作成の援助

#### <加入するメリットの強化など>

- ・自治会に加入するメリットが必要（加入しなくても、デメリットがないため）
- ・会員になる事で、何かメリットになる事をつくる。会員と非会員の差別化
- ・未加入者のデメリットを明確にする
- ・会員だけのメリットを考える

#### <その他>

- ・現地点では、加入者が増えることはまずない。加入するメリットがない。
- ・市に積極的な自治会入会を促してほしい。新たな世帯や外国人の方々へもっと。

- 時代に合っていない
- 現在は、加入、退会は自由。新築住宅団地居住者（若い世代）は、参加は少ない。
- 市がその気にならなければNG。現在はその気になってない。
- 加入を増やす活動はしていません。いずれの近い将来に、退会者の再加入活動を大々的にしたいものです。

## Q6. 自治会退会者を減らすために、取り組みを行っていますか。(その他回答)

回答は、p.15 にまとめています。

### <会員の負担減など>

- コロナ禍の為、2年間は会費を半額 1500 円としました。
- 無理のない活動（自治活動）で良いので、出来る事に参加を呼びかけ
- 役員になる回数を少なくする（2年に1回） 組数を少なくする
- 役員の負担を出来るだけ減らしてきた。会費の徴収も、役員が各戸を廻らなくても良い様に口座引き落としにした。
- 高齢者世帯について、役員の免除等の論議はある

### <会員との話し合いや説得など>

- 自治会の存在意義について論議して、高齢者こそ残ってほしいと話している。
- 退会意思表示者に対し、退会理由など個別に聞くとともに、復帰にむけた希望などについて確認作業を行っている。
- 退会希望の方へ退会しないでとの声かけ
- 自治会がどうしてあるのか、説明して説得する。
- 役員を押し付けることはせず、役員人選はあくまで本人納得の上でやってもらう。
- 自治会活動情報提供
- 退会すると、多くのデメリット生ずる旨の連絡 ①行事には出れない ②行事の報告しない ③広報等は配布しない ④ゴミ出しは個人にて対応 ⑤葬儀等連絡しない。掲示板抹消等々

### <防災への取り組みなど>

- 検討している事；防災、災害時の避難協力。大災害が予想される時、高齢者や障害者の救助支援計画。避難救助を求める人に、誰が応援を担当するかを、明確に決める体制。
- 自治会活動として、災害時の助け合いの方法を検討し、充実できるように考えている

### <自治会活動の充実など>

- 米寿のお祝いを始めた。

### <その他>

- 退会する方は、どうしても退会するので無駄
- 引き留める理由がない。負担が大きい
- 高齢者の役員免除のせいで若者の自治会脱退が増えている。班編成の変更を検討中
- 本部役員、班長さんは各班とも順番制（1年交代）のなか、自治会も45年続いてきました。ところが昨年ある班が一斉に退会されて（一軒だけ残る）班がなくなりました。昨年の本部役員は慰留に努力されて大変だったと思います。よって本年度の本部役員は自治会の組織・運営について検討会を行っています。
- 退会者が多くなってきたのでどうするか相談中

Q7. 役員のなり手を確保するために、どのような取り組みを行っていますか。  
(その他回答)

回答は、p.16~17 にまとめています。

#### <輪番制や持ち上がりなど>

- ・少数世帯21の現状の為、三役会長は2年制で輪番(2人で)副会長は会長任命、会計は輪番制(商店街役員ははずす!)監査は前年度会計の方をお願いしている。
- ・順番
- ・工夫ではなく、代々順番制です
- ・入居順なのでそれほど関係はない
- ・副会長が翌年会長へ

#### <マニュアルや引継書の作成など>

- ・市への提出資料、年間活動記録、役員会開催実績を保存して残している
- ・役員の仕事は、誰でも出来る程度まで軽減している

#### <役員業務の軽減など>

- ・2(役員を複数人制にし、一人にかかる負担の軽減を図っている)を行っているが、複数人にする人がいなくなってきた

#### <役員のサポート体制の整備など>

- ・担当者を長として、他の役員が補佐できれば手伝う
- ・自治会の行事、催し協力してくれそうな人に「サギ坂の会(現在約20名)」への参加を推めている。
- ・役員経験者に相談役として役員会に参加してもらい、助言を得ている
- ・4(役員経験者に相談できるサポート体制をつくっている)→アドバイザースタッフとして相談にのってもらっている
- ・顧問制度、相談役制度導入して、現役に指導してもらっている。(役員2年以上した者の中で)

#### <話し合いなど>

- ・年度末には、口頭で引継をしている 慰労会等の予算確保
- ・4(役員経験者に相談できるサポート体制をつくっている)…相談・サポートはして頂けるが、体制をつくっているとはいえない。今年の役員(三役・各部長)は、事前に根回しして行われた。その為、他の役員の方は、安心して会議に出席できた。
- ・当年度の班長さんが12月~1月にかけて、次年度の本部役員・班長さんが書面でもってきて、本部役員・班長さんを受けてもらっている。よって1月下旬には、次年度の本部役員を集ってもらって14~16名話し合いで会長以下順に決めております。話し合いで決めますので、出席者は役員をやらないということはないです。

## <その他>

- 現在、加入率は50%程度。役員のみ手なし。私は、自治会長は2度目である。次年度の会長も2度目である。自治会存続のためにしかたなくやっている。
- 順番で決めている
- 役員をしても良いという人で、何年か役員をしてもらったがグループ化してしまい、退会者が増えたので、意識改革してもらえるような話をなるべく、機会あるごとに。行政に働きかけることによって、きちんと応えてもらえるという事がわかるよう問題を解決していく
- どれも行っておらず、何かしなければと思いつつ、来年になれば何もしないで次の人が同じことを考えながらまた1年がたち、その後何年かしたときに消滅してしまうのではないか…と思う。
- 有無を言わずくじの結果

## Q8. 会長としてご苦労、ご負担に感じておられることはありますか。(その他回答)

回答は、p.18にまとめています。

### <新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による制限など>

- コロナでやりたいことができない。
- コロナ禍により会議打ち合わせ、場所が会議場が中止され情報交換が難しい。集まる場所が見当らない。仕方なく電話会答及びアンケート解答を求めて調整決定します
- 新型コロナ感染防止で中止が多く参加したのは1回のみ
- コロナ緊急事態宣言が何回も発令され、計画等が実行されなく、書類は来るが活動出来ない

### <行政や団体の活動参加・回覧配布など>

- 協力金、寄付金を求められるケースが多い。中でも社協、赤十字社 年3回の協力金は不思議？ 校区連合や体振分担金で自治会に負担が多い！コロナ禍で活動のない時などは市としても対策を考え、自治会負担は0にしてください！
- 配布が多すぎる。これが一番の負担。デジタル化してほしい

### <行政との連携など>

- 役所と自治会のつながり。一ヶ月に一度役員会をするので、月始めにもっていった要望の回答をその月中にしてほしい。次回、報告できるから
- 住民からの要望に対し、合理的な理由を示さず市担当課で拒否されることがある。
- 長期的展望にたったの、役員体制確保。城陽市との連携い。

### <自治会内での意見調整など>

- 役員どうしでの意思疎通がままならない時がある 人によってメールやLINE等を使えない方がいて連絡が大変な時がある ※直接家に行ったりしなければならない時がある
- 自治会内での意見の相違。特に過去の会長経験者（高齢者）の固定観念と、それ以外の年代の先進的な考え方との調整にかなりの労力を要しており、少しずつしか改善できない。

### <時間の制約や負担など>

- 時間の拘束が増える
- 働く世代が会長・役員をしても自治会活動に身が入らない。特に個人的に土日祝日が仕事で休みも不定休（長いときは2ヶ月くらい休みが無い）ので自治会活動が出来ていない。多様性の世代になっているのに行政がついてきていない。
- 日曜も平日も仕事があるので自治会活動は今回コロナで自粛モードだからなんとかやっているが、通常だったら本業の仕事にさしさわりがある。日中、誰もいません。そんな状況でやっています。負担でしかないです。

- ・平日は仕事をしている為、なかなか自治会活動に時間が取れない。土日に市役所に連絡を取りたいが、休みなのでできない。

#### <精神的なストレスなど>

- ・精神的な圧力がかけられる状況
- ・退会者を減らすことや役員なり手確保の取組みなどを考え、ストレスを感じる。コロナ禍で様々な行事がなくなり助かっている。このくらいの活動がちょうどよい
- ・市役所の方が電話をして下さるが、本当に市役所の方なのか大変不安に思います。簡単に電話をされてきますが…

#### <高齢化や脱会者の増加など>

- ・会員の高齢化が進み、特に体振運営委員の成り手や、区民運動会、各種スポーツ行事への参加者の確保に苦勞する（敬遠する人が多い）。（今は、コロナ禍で体振行事は全て中止となっていますが、潜在的な課題です。）
- ・退会者は増えるなか、自治会の組織に現行のままだと問題があるのでは、今議論をかさねております。

#### <その他>

- ・自治会に関心がない
- ・2021年8月に会長が死亡

#### <特になし（新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による）>

- ・今年はコロナでほとんど中止になっているので実感がありませんが中止になっていなかったら負担だろうと思う。
- ・本年は、コロナで会議も少ないので当てはまるものは少ないです
- ・コロナ禍で、活動・会議が中止となっており、特に苦勞・負担はない。
- ・今年度は、1（自治会の会議や各種活動への参加）・2（校区や各種団体の会議、活動への参加）については活動が縮小・中止となり負担とは感じていない。
- ・コロナ感染予防で活動がほぼ中止となり、ご意見はございません
- ・今年はコロナのため校区の会議への参加がなくありがたいというのが本音です

#### <特になし>

- ・特に負担に感じた事ありませんでした。
- ・日常の活動に関しては特に負担を感じる事はない。自ら実施したいと提案する防犯カメラ設置や、安全な街づくりなどはやり甲斐を感じる。しいて挙げると、役員ของทีมワーク維持。コロナ禍ではコミュニケーションもむずかしい
- ・退職しているので負担は感じないが、仕事を持っていると大変か

### 【Ⅲ. 市からの自治会活動支援について】

Q1. 自治会活動を行う上で、市からどのような支援が必要だと思われますか。  
(その他回答)

回答は、p.23 にまとめています。

#### <業務の軽減など>

- 配布物、イベントを減らす
- 募金が年に4回あり集金等が負担なので減らしてほしい
- 配布物をへらす
- 補助制度の申請が年度末、年度始めにまとまらないよう分散してほしい。忙しすぎる
- 事務処理の軽減
- 窓口を一本化してほしい。担当者を一人つけてほしい
- 活動運営の具体的なマニュアル製作

#### <補助金制度の拡充など>

- 項目別に補助金制度を設けては。
- 各種助成金の増額

#### <加入促進など>

- 自治会加入を必須 活動参加は別：基本的な、他地域や公的機関との情報交換のみ、役員がするという体制を作ってほしい。
- 役員を廃止して住民が全員「会員」となり、ネットで情報を受けとる
- 市からの助成制度を考えてほしい。退会されるとデメリットになることを。

#### <防災について>

- 南海トラフ地震など、大型災害に備えた家庭向けの防災グッズの斡旋など

#### <その他>

- 地域福祉 高齢者 …助け合い
- 公園の草刈り…今年も年1回ありましたが回数を増やしてほしい（役員高齢化のため）
- 雨水排水路の整備を積極的に行ってほしい
- 校区内各会長との連けい会ギは毎月1回、城陽市はゼロ。城陽市自治会連合会の発足が、一番の早道かも知れませんネ。他市の状況？
- 自治会が本当に必要なのか再考していただきたい。
- なんでも自治会やボランティアに求める姿勢をみなおしてほしい 行政でやってほしい。

Q2. 城陽市から自治会へ依頼している回覧物は、現在月2回の基準日を設けていますが、その回数について教えてください。(その他回答)

回答は、p.24 にまとめています。

- コミセン・警察・学校等の配布物もけっこう有るので、減らしてほしい。
- 紙のむだが多い
- 市役所からくる回覧は基準日にあっているが、他団体が至急回覧をあい間に入れてくるのをまとめてほしい。
- ネットで配信する
- 広報じょうようと一緒に個配し、自治会に属していない人にも配布してほしい。→自治会の負担軽減と全戸周知
- 月2回は私が提案致しました。
- 公報城陽の折り込み用紙A4サイズにして頂きたい
- 寺田小に月末に配布をお願いし、月1にまとめている。会員より月1にして欲しいとの要望があったため
- 月2回の基準日の徹底
- 毎月1回も多いくらいです。もっとへらしてよい
- 自治会への回覧物自体多すぎる。
- 城陽市専用の公報掲示板設置するのも一考。 各月どのぐらいの配布物あるのか？市は把握してますか？
- 自治会へ依頼している月2回の回らん物とはなにか広報担当にきいても分からないしQの意味不明

Q3. 文化パーク城陽の地階にある市民活動支援センターでは、カラー対応の印刷機や裁断機、ラミネーター等の使用ができます。自治会として市民活動支援センターは利用したことがありますか。(欄外への回答)

回答は、p.25 にまとめています。

- パレット JOYO の方が印刷費が安いから
- 当自治会に印刷機あります。
- センター？市民の活動センター？名前負けではありませんか？

※全て原文のまま記載しています。